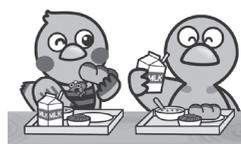


IV くらしと生活環境

項 目	データ	全国順位
(家計)二人以上の世帯のうち勤労者世帯		
実収入(一世帯当たり・1か月間)	502,567円	10
消費支出(一世帯当たり・1か月間)	317,585円	15
貯蓄現在高(一世帯当たり)	12,544千円	14
(生活環境)		
持ち家率	67.0%	27
空き家率(賃貸用住宅、売却用住宅、二次的住宅を除く)	3.7%	45
新設住宅着工戸数	50,660戸	5
通勤・通学時間	41分	4
国内観光旅行の行動者率	55.2%	2
海外観光旅行の行動者率	8.1%	5
日本人出国者数	1,093,473人	6
図書館数	172館	2
都市公園数	5,352か所	8
道路実延長	47,056.4km	5
水道普及率	99.8%	7
下水道処理人口普及率	81.9%	13
一人一日当たりごみ排出量	858g/人日	43
低圧電力需要量	15,290,859kWh	5
(安全)		
出火件数	1,819件	6
救急自動車救急出動件数	360,946件	5
交通事故件数	21,359件	8
刑法犯認知件数	55,497件	3
刑法犯検挙率	33.8%	44
特殊詐欺被害額	2,457,764千円	5

～本編から抜粋～



31 家計

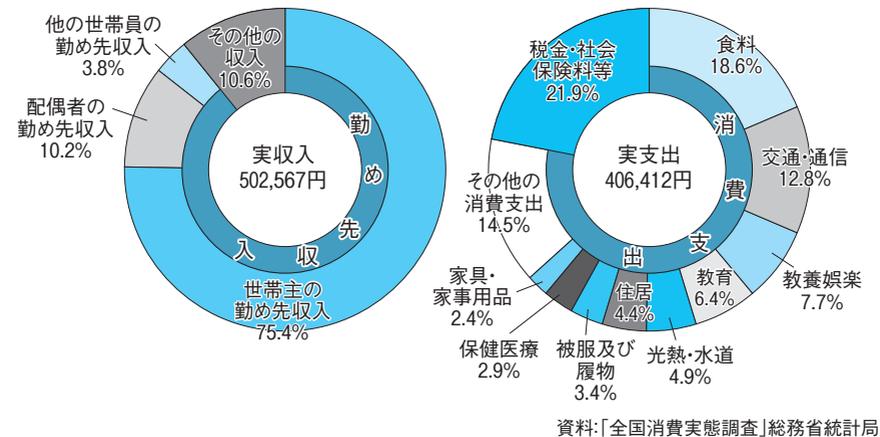
一世帯当たり1か月間の収入と支出(平成26年)

単位	*1 実収入 (一世帯当たり・1か月間)		*2 消費支出 (一世帯当たり・1か月間)		*3 貯蓄現在高 (一世帯当たり)		*4 負債現在高 (一世帯当たり)	
	円	順位	円	順位	千円	順位	千円	順位
全 国	484,714		313,747		11,790		7,003	
北海道	455,353	33	298,903	31	8,410	43	5,874	27
青森県	408,871	46	260,726	46	6,425	46	5,642	30
岩手県	462,387	31	315,566	18	9,497	33	5,593	32
宮城県	468,059	28	318,181	13	9,397	35	5,880	26
秋田県	480,085	25	292,273	35	8,562	40	6,102	23
山形県	512,080	6	318,948	12	9,457	34	6,289	20
福島県	483,274	24	301,293	27	10,127	29	6,470	18
茨城県	513,203	5	322,730	10	11,962	21	6,251	21
栃木県	508,253	8	332,643	4	12,062	18	7,131	10
群馬県	462,280	32	300,301	28	9,927	31	6,806	13
埼玉県	502,567	10	317,585	15	12,544	14	8,248	3
千葉県	498,556	15	325,380	7	13,325	11	7,945	4
東京都	531,150	3	345,027	1	14,184	4	9,471	1
神奈川県	513,842	4	336,339	3	14,024	6	8,834	2
新潟県	491,214	19	298,342	32	11,300	27	6,632	15
富山県	554,130	1	342,680	2	14,160	5	5,199	36
石川県	487,139	22	322,978	9	12,204	17	5,565	33
福井県	541,861	2	316,859	16	16,015	1	5,936	25
山梨県	498,875	14	296,865	33	11,314	26	5,153	38
長野県	495,344	17	315,352	20	11,570	23	5,730	28
岐阜県	501,989	11	305,038	24	13,916	7	5,620	31
静岡県	499,898	13	320,429	11	12,304	16	7,352	8
愛知県	507,847	9	326,266	6	14,282	3	7,027	11
三重県	488,434	20	317,716	14	13,367	10	6,814	12
滋賀県	491,706	18	315,430	19	13,728	9	7,514	5
京都府	463,473	30	303,684	26	11,485	24	7,184	9
大阪府	442,232	38	295,452	34	10,316	28	7,395	7
兵庫県	476,907	26	313,741	21	12,445	15	6,759	14
奈良県	488,080	21	323,549	8	12,863	12	6,539	17
和歌山県	436,634	41	267,197	45	10,015	30	6,129	22
鳥取県	475,207	27	288,338	36	11,980	20	5,273	35
島根県	498,333	16	308,699	23	13,770	8	4,062	46
岡山県	465,713	29	300,152	29	11,761	22	6,368	19
広島県	486,563	23	313,308	22	12,018	19	5,681	29
山口県	450,781	34	299,451	30	12,835	13	5,137	39
徳島県	501,317	12	315,582	17	11,326	25	4,863	42
香川県	511,905	7	326,327	5	14,383	2	4,860	43
愛媛県	440,259	40	283,190	41	9,710	32	5,484	34
高知県	444,453	37	287,175	37	8,767	38	4,452	45
福岡県	448,114	36	304,967	25	9,288	36	5,018	40
佐賀県	449,291	35	283,798	40	8,883	37	5,011	41
長崎県	434,454	42	284,140	39	8,477	41	3,791	47
熊本県	440,289	39	275,370	44	8,583	39	7,495	6
大分県	412,307	45	285,638	38	8,126	44	4,614	44
宮崎県	418,328	44	279,133	43	8,450	42	5,165	37
鹿児島県	433,340	43	280,079	42	6,951	45	6,604	16
沖縄県	370,404	47	247,651	47	4,095	47	6,037	24

資料出所
*1,2「全国消費実態調査」総務省統計局
*3,4「全国消費実態調査」総務省統計局

調査時点又は期間
平成26年9～11月
平成26年11月末

調査周期
5年
5年



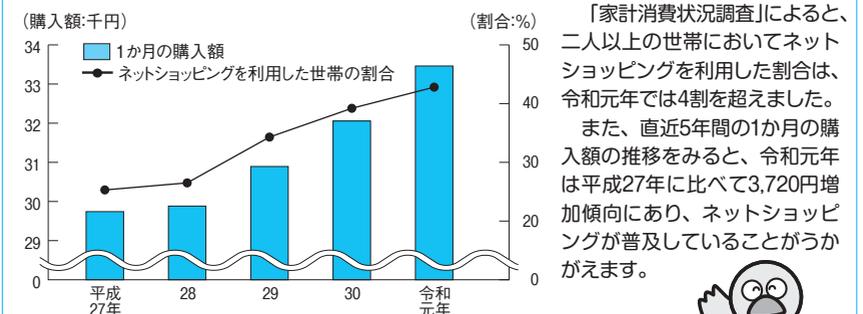
前回調査より実収入は増加、消費支出は減少

「全国消費実態調査」によると、平成26年の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入(一世帯当たり・1か月間)は、前回調査(平成21年)より10,081円増加して502,567円でした。そのうち世帯主の勤め先収入は378,798円で、実収入全体の75.4%を占めています。また、世帯主の配偶者の勤め先収入は51,224円で、実収入全体の10.2%を占めています。

実支出は406,412円で、そのうち税金・社会保険料等を除いた消費支出は、前回調査より8,918円減少して317,585円でした。消費支出のうち食料費は75,785円で、エンゲル係数(消費支出に占める食料費の割合)は23.9%(前回調査比1.8ポイント上昇)でした。

※表*1～4及びグラフは、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値です。

～ネットショッピングを利用した世帯の割合と1か月間の購入額の推移(全国)～



32 物価

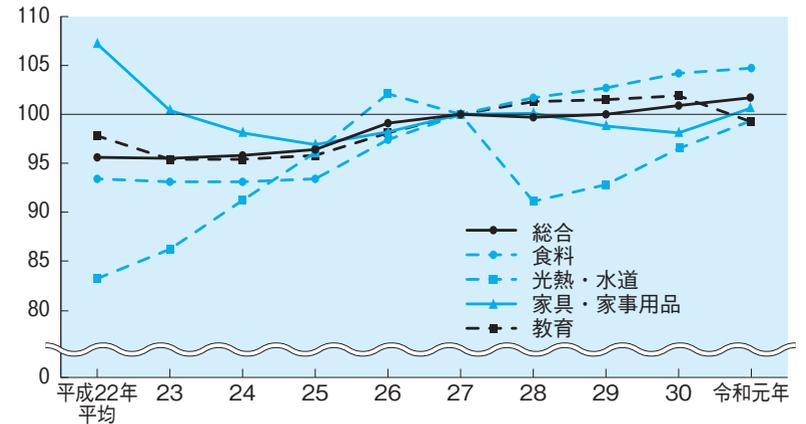
単位	*1 消費者物価地域差指数・持家の帰属家賃を除く総合 (全国平均=100)		*2 消費者物価地域差指数・食料 (全国平均=100)		*3 うるち米 (コシヒカリを除く)		*4 家賃 (民間借家・1か月)	
	-	順位	-	順位	円/袋(5kg)	順位	円/3.3㎡	順位
全 国	100.0		100.0		
北海道	99.5	19	100.9	17	2,145	23	3,829	26
青森県	98.5	31	98.5	37	2,273	5	3,133	47
岩手県	99.2	22	98.6	36	1,997	45	3,989	20
宮城県	99.9	13	98.4	39	2,099	34	4,707	10
秋田県	98.2	36	98.3	40	1,935	47	3,658	34
山形県	100.1	12	100.8	20	2,147	21	3,720	29
福島県	100.4	10	102.6	8	2,246	8	3,779	27
茨城県	98.7	29	98.2	41	2,064	39	4,066	19
栃木県	99.1	25	99.7	30	2,147	21	3,920	23
群馬県	96.7	46	98.2	41	2,064	39	3,469	44
埼玉県	102.7	3	101.2	14	2,405	1	5,282	5
千葉県	101.3	4	102.8	7	2,220	16	4,807	8
東京都	105.4	1	103.4	4	2,234	12	8,824	1
神奈川県	104.7	2	102.5	9	2,203	18	6,327	2
新潟県	98.9	26	100.9	17	2,090	35	4,118	18
富山県	98.9	26	102.9	6	2,107	30	3,626	36
石川県	100.3	11	103.5	3	2,119	28	3,915	24
福井県	99.4	20	104.0	2	2,127	27	3,345	46
山梨県	99.4	20	101.0	15	2,239	10	3,682	31
長野県	98.3	35	95.4	46	2,284	4	3,665	33
岐阜県	98.2	36	99.1	33	2,131	26	3,718	30
静岡県	99.7	16	100.2	24	2,217	17	4,862	7
愛知県	98.5	31	97.6	43	2,105	31	4,706	11
三重県	98.1	39	99.7	30	2,226	15	3,669	32
滋賀県	100.5	8	101.0	15	2,243	9	4,685	12
京都府	100.8	6	100.9	17	2,248	7	5,999	3
大阪府	99.7	16	100.8	20	2,270	6	5,786	4
兵庫県	100.9	5	99.8	29	2,285	3	4,909	6
奈良県	97.1	45	95.7	45	2,237	11	3,926	22
和歌山県	99.2	22	100.7	22	2,231	13	3,620	37
鳥取県	98.2	36	101.3	13	2,034	42	3,571	42
島根県	99.9	13	102.2	11	1,941	46	4,268	16
岡山県	97.6	41	99.3	32	2,136	25	3,879	25
広島県	98.9	26	100.1	26	2,101	33	4,403	14
山口県	99.2	22	101.8	12	2,145	23	3,591	39
徳島県	100.5	8	103.2	5	2,202	19	3,497	43
香川県	98.7	29	100.2	24	2,087	37	3,648	35
愛媛県	99.9	15	99.0	35	2,075	38	3,585	41
高知県	99.8	15	102.5	9	2,231	13	3,956	21
福岡県	97.5	42	95.2	47	2,021	43	4,423	13
佐賀県	97.2	44	97.1	44	2,018	44	3,590	40
長崎県	100.8	6	99.1	33	2,062	41	4,735	9
熊本県	98.4	33	99.9	27	2,115	29	3,753	28
大分県	98.4	33	99.9	27	2,104	32	3,367	45
宮崎県	96.7	46	98.5	37	2,153	20	3,605	38
鹿児島県	97.3	43	100.4	23	2,088	36	4,170	17
沖縄県	99.6	18	104.7	1	2,374	2	4,370	15

資料出所
*1,2 「小売物価統計調査(構造編)」総務省統計局
*3,4 「小売物価統計調査(動向編)」総務省統計局

調査時点又は期間
令和元年平均
令和元年平均

調査周期
毎年
毎年

主な消費者物価指数の推移(さいたま市・平成27年=100)



資料:「消費者物価指数年報」総務省統計局

消費者物価指数(総合)は前年に比べ0.5%上昇

「消費者物価指数年報」によると、令和元年平均のさいたま市の消費者物価指数(平成27年=100)は、総合指数が前年に比べ0.5%上昇して101.5でした。

「小売物価統計調査(構造編)」によると、令和元年平均のさいたま市の消費者物価地域差指数(持家の帰属家賃を除く総合)は、全国平均を100とすると102.7でした。また、消費者物価地域差指数の食料指数は、全国平均を100とすると101.2でした。

うるち米の価格は全国第1位、家賃(民間借家)は全国第5位

「小売物価統計調査(動向編)」によると、令和元年平均のさいたま市のうるち米(国内産、精米、単一原料米(産地、品種及び産年が同一のもの)、袋入り(5kg入り)、コシヒカリを除く)は2,405円で、全国で一番高い価格でした。また、民間借家の家賃(3.3㎡当たり・1か月)は5,282円で、東京都(東京都区部)8,824円、神奈川県(横浜市)6,327円、京都府(京都市)5,999円、大阪府(大阪市)5,786円に次いで全国第5位で、昨年の第3位より下がりました。

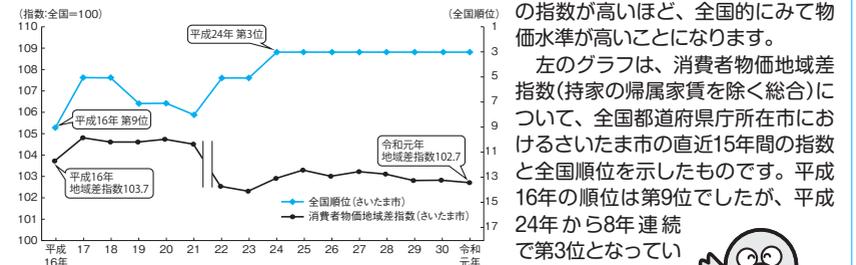
※表*1~4は、各都道府県庁所在地(東京都については東京都区部)の数値です。

※表*1,2及び文中の全国平均とは、都道府県庁所在地(東京都については東京都区部)及び政令指定都市(川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市)の数値の平均です。

~消費者物価地域差指数と全国順位の推移~

消費者物価地域差指数は、都道府県庁所在地(東京都は東京都区部)及び政令指定都市の平均(平成21年までは価格調査全市町村の平均)を100として、各地域の指数を表したものです。この指数が高いほど、全国的にみて物価水準が高いことになります。

左のグラフは、消費者物価地域差指数(持家の帰属家賃を除く総合)について、全国都道府県庁所在地におけるさいたま市の直近15年間の指数と全国順位を示したものです。平成16年の順位は第9位でしたが、平成24年から8年連続で第3位となっています。



資料:平成16年~平成25年「消費者物価指数(CPI)」総務省統計局
平成26年~令和元年「小売物価統計調査(構造編)」総務省統計局

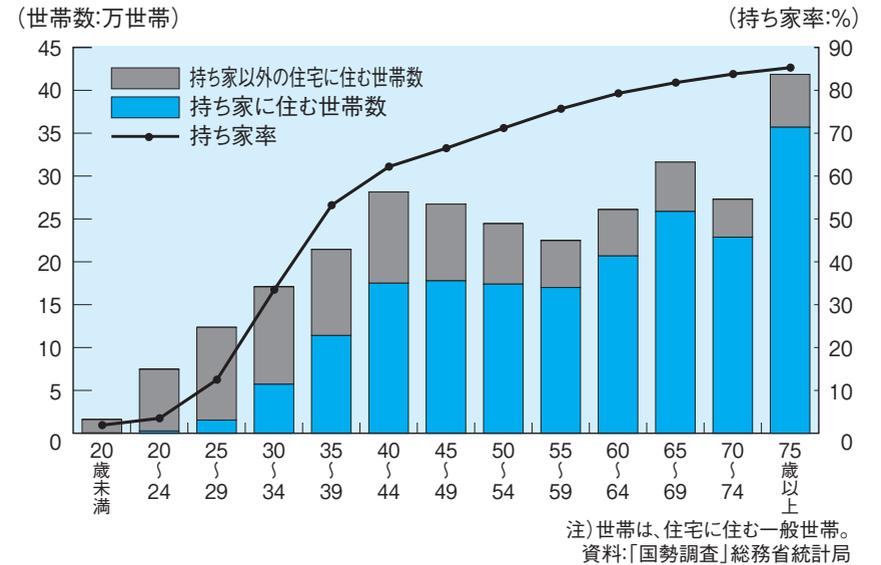


33 住宅

単位	*1 持ち家率		*2 空き家率 (賃貸用住宅、売却用住宅、二次的住宅を除く)		*3 一住宅当たり 延べ面積		*4 新設住宅着工戸数	
	%	順位	%	順位	m ²	順位	戸	順位
全 国	62.3		5.6		93.04		905,123	
北海道	56.8	43	5.6	37	91.23	38	32,624	8
青森県	71.2	13	7.7	21	121.58	10	6,174	34
岩手県	68.7	23	8.7	15	119.90	12	8,460	27
宮城県	58.8	42	4.6	41	97.24	31	17,591	13
秋田県	78.0	2	8.7	13	131.93	4	4,209	43
山形県	75.0	4	6.6	30	135.18	3	5,755	37
福島県	66.1	31	6.8	28	112.65	14	11,043	23
茨城県	70.7	14	5.9	35	107.79	21	17,971	12
栃木県	69.6	19	6.2	32	106.54	23	11,988	20
群馬県	71.4	12	6.6	29	107.14	22	11,935	21
埼玉県	67.0	27	3.7	45	87.15	41	50,660	5
千葉県	66.0	32	4.8	40	89.74	39	45,946	6
東京都	47.7	47	2.3	47	65.90	47	139,015	1
神奈川県	60.5	41	3.3	46	78.24	44	73,209	2
新潟県	74.6	5	6.5	31	128.95	5	11,488	22
富山県	78.1	1	7.1	25	145.17	1	6,139	36
石川県	69.5	20	7.0	27	126.60	6	8,237	28
福井県	75.7	3	7.3	24	138.43	2	4,989	41
山梨県	69.8	17	8.7	14	111.94	16	4,841	42
長野県	72.0	11	8.4	17	121.62	9	12,592	18
岐阜県	74.1	7	7.1	26	121.77	8	12,001	19
静岡県	67.7	24	5.1	38	103.15	26	22,198	10
愛知県	60.6	40	4.1	44	95.01	34	66,403	4
三重県	73.8	8	9.1	10	110.42	19	10,162	24
滋賀県	72.6	10	6.1	33	115.49	13	8,712	26
京都府	62.0	38	6.1	34	86.93	42	15,600	14
大阪府	56.3	44	4.5	42	76.98	45	70,002	3
兵庫県	65.1	34	5.7	36	93.40	37	32,110	9
奈良県	73.4	9	7.4	23	110.87	18	6,170	35
和歌山県	74.2	6	11.2	3	105.72	24	5,188	40
鳥取県	69.4	22	8.9	11	121.52	11	2,616	47
島根県	70.7	15	10.6	4	123.08	7	4,177	44
岡山県	67.0	28	8.0	18	105.64	25	13,200	17
広島県	61.9	39	8.0	19	93.52	36	18,845	11
山口県	67.4	25	9.9	7	102.30	27	7,311	30
徳島県	69.8	18	10.3	5	111.05	17	4,122	45
香川県	70.5	16	9.6	8	108.58	20	5,680	38
愛媛県	67.1	26	10.2	6	99.95	28	7,756	29
高知県	66.9	29	12.8	1	95.32	33	3,310	46
福岡県	53.8	45	4.9	39	84.66	43	39,860	7
佐賀県	69.5	21	7.6	22	112.48	15	5,673	39
長崎県	65.1	35	8.7	12	97.20	32	6,749	32
熊本県	64.0	36	7.9	20	99.57	29	14,979	16
大分県	63.7	37	8.4	16	98.02	30	6,926	31
宮崎県	66.5	30	9.1	9	94.39	35	6,463	33
鹿児島県	65.3	33	12.0	2	88.67	40	8,946	25
沖縄県	48.6	46	4.1	43	75.77	46	15,098	15

資料出所 調査時点又は期間 調査周期
 *1 「国勢調査」総務省統計局 平成27年10月1日 5年
 *2,3 「住宅・土地統計調査」総務省統計局 平成30年10月1日 5年
 *4 「建築着工統計調査」国土交通省 令和元年 毎年

世帯主の年代別、住宅の所有別世帯数と持ち家率(平成27年10月1日現在)



持ち家の割合は前回調査より上昇

「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在、持ち家に住んでいる一般世帯の割合(持ち家率)は、前回調査(平成22年)より0.7ポイント上昇して67.0%でした。

空き家率は3.7%で全国第45位

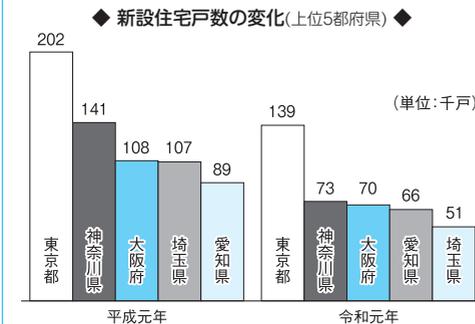
「住宅・土地統計調査」によると、平成30年10月1日現在、総住宅数338万5千戸のうち、別荘などの二次的住宅や賃貸用住宅、売却用住宅を除いた空き家の割合は3.7%で、全国第45位でした。また、一住宅当たり延べ面積は87.15m²で、全国第41位でした。

$$\text{空き家率} = \frac{\text{空き家数(賃貸用住宅、売却用住宅、別荘などの二次的住宅を除く)}}{\text{総住宅数}} \times 100$$

新設住宅着工戸数は、対前年比13.4%の低下

「建築着工統計調査」によると、令和元年の新設住宅着工戸数は、前年より13.4%低下して50,660戸でした。

～平成元年と令和元年 新設住宅の戸数と床面積の合計の変化～



「建築着工統計調査」によると、令和元年の新設住宅戸数は、平成元年の106,598戸から半減し、全国第4位から第5位に順位を落としました。床面積の合計は、平成元年が全国第3位で8,160,954m²、令和元年が第5位で4,350,654m²となっています。

一方、1戸当たりの床面積は9.3m²増加し、戸数、床面積の合計の上位5都府県の中でも特に大幅増となりました。



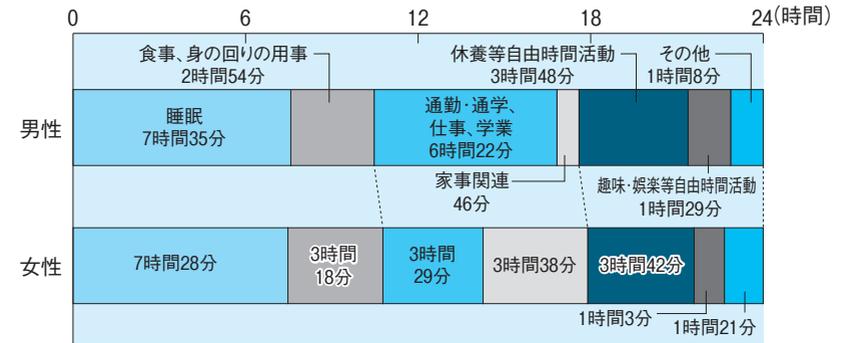
34 生活時間

単位	*1 1次活動 (睡眠・食事等)		*2 2次活動 (仕事・家事等)		*3 3次活動 (自由時間)		*4 2次活動のうち 通勤・通学	
	時間.分	順位	時間.分	順位	時間.分	順位	時間.分	順位
全 国	10.41		6.57		6.22		0.34	
北海道	10.45	17	6.31	45	6.44	1	0.25	35
青森県	10.58	4	6.39	40	6.22	23	0.24	42
岩手県	11.01	2	6.47	35	6.12	43	0.25	35
宮城県	10.46	16	6.55	22	6.19	31	0.30	14
秋田県	11.09	1	6.23	47	6.28	11	0.22	47
山形県	10.55	6	6.48	34	6.16	36	0.25	35
福島県	10.45	17	6.56	20	6.19	31	0.28	23
茨城県	10.41	29	6.57	18	6.21	24	0.33	9
栃木県	10.47	14	6.50	29	6.23	21	0.29	19
群馬県	10.48	11	7.07	3	6.05	47	0.30	14
埼玉県	10.37	39	7.07	3	6.16	36	0.41	4
千葉県	10.37	39	7.06	5	6.17	33	0.43	2
東京都	10.43	25	7.06	5	6.12	43	0.42	3
神奈川県	10.37	39	7.10	2	6.14	41	0.46	1
新潟県	10.48	11	6.56	20	6.16	36	0.28	23
富山県	10.39	34	7.01	12	6.20	28	0.29	19
石川県	10.34	45	7.06	5	6.20	28	0.27	26
福井県	10.48	11	7.05	8	6.07	46	0.26	29
山梨県	10.44	21	6.59	16	6.17	33	0.27	26
長野県	10.51	7	7.01	12	6.08	45	0.26	29
岐阜県	10.33	46	7.02	11	6.25	15	0.30	14
静岡県	10.38	37	6.49	31	6.33	8	0.29	19
愛知県	10.30	47	7.04	9	6.25	15	0.35	7
三重県	10.38	37	6.55	22	6.28	11	0.31	12
滋賀県	10.45	17	6.58	17	6.17	33	0.33	9
京都府	10.47	14	6.50	29	6.23	21	0.33	9
大阪府	10.39	34	6.46	36	6.35	6	0.36	6
兵庫県	10.39	34	6.57	18	6.24	19	0.34	8
奈良県	10.40	31	6.53	27	6.26	14	0.37	5
和歌山県	10.45	17	6.36	43	6.39	4	0.25	35
鳥取県	10.42	27	6.53	27	6.25	15	0.26	29
島根県	11.01	2	6.43	38	6.16	36	0.24	42
岡山県	10.44	21	6.54	26	6.21	24	0.29	19
広島県	10.44	21	6.55	22	6.21	24	0.30	14
山口県	10.42	27	6.38	41	6.40	3	0.25	35
徳島県	10.49	10	6.43	38	6.27	13	0.25	35
香川県	10.41	29	6.55	22	6.24	19	0.26	29
愛媛県	10.44	21	6.33	44	6.43	2	0.25	35
高知県	10.56	5	6.28	46	6.35	6	0.26	29
福岡県	10.35	43	7.04	9	6.21	24	0.31	12
佐賀県	10.43	25	7.01	12	6.16	36	0.26	29
長崎県	10.35	43	6.49	31	6.37	5	0.27	26
熊本県	10.40	31	7.00	15	6.20	28	0.28	23
大分県	10.40	31	6.49	31	6.31	10	0.24	42
宮崎県	10.51	7	6.37	42	6.32	9	0.24	42
鹿児島県	10.50	9	6.45	37	6.25	15	0.23	46
沖縄県	10.36	42	7.11	1	6.13	42	0.30	14

資料出所 *1～4「社会生活基本調査」総務省統計局

調査時点又は期間 平成28年10月 調査周期 5年

一日の生活時間(平成28年)



資料:「社会生活基本調査」総務省統計局

通勤・通学時間は全国第4位

「社会生活基本調査」によると、平成28年の県民の生活時間は、前回調査(平成23年)より、1次活動時間が4分増加して10時間37分、2次活動時間が1分減少して7時間7分、3次活動時間が3分減少して6時間16分でした。

2次活動時間について男女別に戻り調査と比べてみると、男性が7時間7分で2分増加し、女性が7時間8分で4分減少しています。男女間で活動時間の差はあまりありませんが、その内訳をみると、家事関連時間は男性が46分(前回調査より4分増加)、女性が3時間38分(同6分減少)と、前回調査に引き続き大きな差があります。

一方、通勤・通学、仕事、学業の合計時間は、男性が6時間22分(前回調査より1分減少)、女性が3時間29分(同)で、こちらも引き続き大きな差があります。

なお、通勤・通学時間(男女合計)は前回調査と同じ41分で、神奈川県、千葉県、東京都に次いで全国第4位でした。

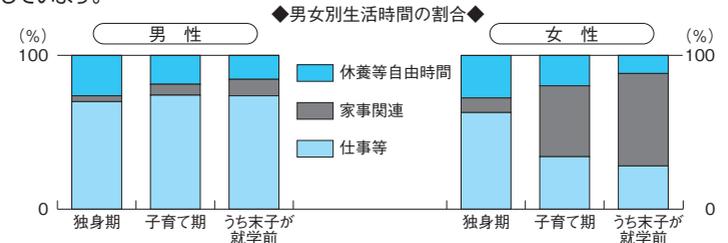
- 1次活動 睡眠、食事等生理的に必要な活動。
- 2次活動 仕事、家事等社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動。
家事関連時間 家事、介護・看護、育児及び買い物時間の合計。
- 3次活動 1次、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動。

※表*1～4、グラフ及び文中の生活時間は、週全体の一人一日当たりの総平均(該当する種類の行動をしなかった人を含む全員(10歳以上)についての平均)時間です。

～ライフステージ別有業者の生活時間～

働いている男女の生活時間をライフステージ別にみると、独身期に比べ子供がいる場合、男性は仕事等の時間の割合が大きいまま変化がないのに対し、女性は大幅に小さくなっています。また、家事関連の時間の割合が大幅に増えています。

さらに、子供のうち末子が就学前の場合、女性は家事関連の時間の割合が約60%(男性約11%)、仕事等の時間の割合が約28%(同約74%)となっていて、男女の生活時間の使い方には大きな違いが生じています。



注) 1 休養等自由時間 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ
2 家事関連 家事、介護・看護、育児、買い物
3 仕事等 通勤・通学、仕事、学業

資料:「平成28年社会生活基本調査」総務省統計局



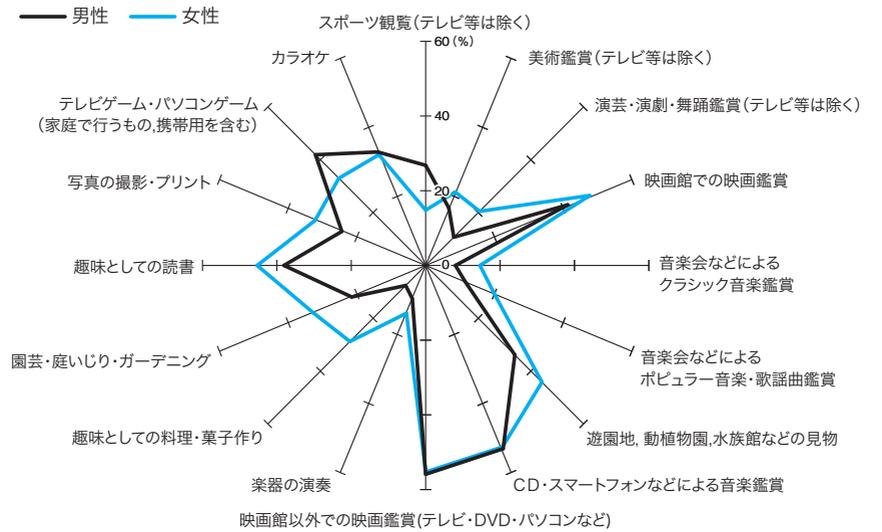
35 余暇

主な趣味・娯楽の種類別行動者率(平成28年)

単位	*1 趣味・娯楽の行動者率(総数)		*2 CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞の行動者率		*3 映画館での映画鑑賞の行動者率		*4 趣味としての読書の行動者率	
	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	87.0		49.0		39.6		38.7	
北海道	85.2	24	47.5	15	31.0	35	37.8	11
青森県	80.7	45	41.3	39	27.0	42	29.7	46
岩手県	84.0	30	42.2	34	24.3	47	33.9	25
宮城県	86.7	15	50.0	8	38.2	16	39.4	8
秋田県	80.3	47	38.6	47	26.1	45	31.5	40
山形県	84.0	30	40.7	43	36.6	22	32.1	38
福島県	83.4	36	41.6	36	29.7	39	33.9	25
茨城県	87.5	9	47.9	12	40.2	10	35.7	19
栃木県	84.2	29	44.2	22	37.6	17	35.2	21
群馬県	86.3	19	45.2	19	36.2	23	35.1	22
埼玉県	89.3	4	53.0	4	44.7	4	41.7	4
千葉県	90.6	1	53.3	3	45.1	3	42.4	3
東京都	90.1	2	59.0	1	49.7	1	49.6	1
神奈川県	90.1	2	56.4	2	47.4	2	43.9	2
新潟県	83.3	38	42.5	33	33.9	28	33.1	32
富山県	87.0	12	45.0	20	40.3	9	37.0	13
石川県	88.0	8	45.7	18	39.4	13	35.4	20
福井県	85.4	22	42.9	30	37.2	19	33.1	32
山梨県	84.9	26	43.3	27	34.9	26	34.3	24
長野県	85.6	21	44.1	24	32.5	32	36.4	16
岐阜県	85.4	22	43.4	25	38.9	14	32.4	36
静岡県	86.6	16	44.2	22	35.0	25	36.5	15
愛知県	88.8	5	49.9	9	42.0	6	38.7	9
三重県	86.6	16	46.5	17	37.5	18	33.8	29
滋賀県	88.5	6	50.2	6	40.2	10	37.0	13
京都府	88.3	7	51.1	5	41.2	7	40.6	5
大阪府	86.6	16	50.1	7	43.0	5	40.1	7
兵庫県	87.2	10	47.8	13	38.9	14	38.0	10
奈良県	86.9	14	47.8	13	40.7	8	40.4	6
和歌山県	83.4	36	41.6	36	36.9	20	29.5	47
鳥取県	83.1	39	41.5	38	26.2	44	33.9	25
島根県	84.0	30	40.3	45	26.6	43	33.3	31
岡山県	87.0	12	44.7	21	36.9	20	37.8	11
広島県	87.1	11	47.5	15	33.9	28	35.9	18
山口県	84.3	28	43.2	28	34.1	27	34.5	23
徳島県	82.1	43	41.3	39	31.0	35	33.5	30
香川県	85.2	24	42.7	31	33.6	30	33.9	25
愛媛県	83.6	34	42.6	32	32.5	32	32.9	35
高知県	80.5	46	40.4	44	29.0	41	30.8	43
福岡県	86.3	19	48.1	11	39.7	12	36.0	17
佐賀県	83.1	39	43.0	29	32.0	34	31.3	42
長崎県	83.0	41	43.4	25	29.2	40	31.5	40
熊本県	82.3	42	40.8	42	30.6	37	31.7	39
大分県	84.5	27	41.3	39	33.6	30	32.4	36
宮崎県	81.0	44	39.7	46	25.5	46	30.7	44
鹿児島県	83.5	35	42.0	35	30.4	38	30.5	45
沖縄県	83.9	33	48.4	10	36.2	23	33.0	34

資料出所 *1～4「社会生活基本調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成28年10月 5年



資料:「社会生活基本調査」総務省統計局

趣味・娯楽の行動者率は89.3%

「社会生活基本調査」によると、平成28年10月現在、過去1年間に何らかの趣味・娯楽活動を行った人は5,854千人でした。その行動者率(10歳以上人口に占める行動者数の割合)は89.3%(男性89.1%、女性89.5%)で、前回調査(平成23年)より1.4ポイント上昇し、全国第4位でした。

行動者率を種類別にみると、「映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)」が55.6%で最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」53.0%、「映画館での映画鑑賞」44.7%、「趣味としての読書」41.7%の順でした。

※表*1～4及びグラフの調査の対象は、10歳以上の世帯員です。

～家計から分かる主な余暇活動～

令和元年の教養娯楽にかかる年間支出額は、都道府県庁所在地市のうち、さいたま市が全国第1位となる488,999円でした(2人以上の世帯一世帯当たり)。さいたま市は、インターネット接続料が全国第1位、月謝類、新聞が第2位(新聞を含めた書籍・他の印刷物全体では第1位)、映画・演劇等入場料は第3位でした。

教養娯楽にかかる年間支出額上位の主な品目

(単位:円)

順位	インターネット接続料	月謝類	新聞	映画・演劇等入場料
1	さいたま市 38,184	金沢市 53,785	大津市 33,052	東京都区部 14,429
2	札幌市 36,902	さいたま市 52,119	さいたま市 31,765	神戸市 11,387
3	水戸市 36,317	福岡市 52,052	青森市 31,709	さいたま市 10,408
4	金沢市 33,234	富山市 49,714	奈良市 31,417	横浜市 9,817
5	高松市 33,049	東京都区部 49,521	長野市 31,267	仙台市 8,398

資料:「家計調査年報(家計収支編)」総務省統計局

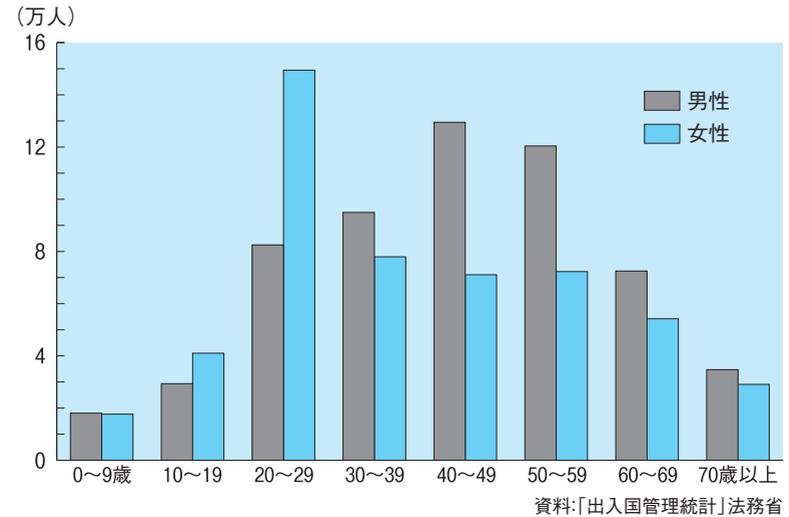


36 旅行

単位	*1 国内観光旅行の行動者率		*2 海外観光旅行の行動者率		*3 日本人出国者数		*4 一般旅券発行数	
	%	順位	%	順位	人	順位	冊	順位
全 国	48.9		7.2		20,080,669		4,365,290	
北海道	43.1	31	4.3	28	381,190	11	119,613	9
青森県	32.9	46	2.4	45	46,765	43	17,318	42
岩手県	37.7	43	2.1	46	51,484	42	19,305	41
宮城県	47.7	19	4.7	23	174,338	22	52,670	18
秋田県	41.4	34	2.1	46	36,719	46	13,020	44
山形県	46.5	24	4.0	33	55,789	40	19,616	40
福島県	47.1	21	3.3	40	106,725	27	34,314	26
茨城県	46.8	22	5.4	17	307,911	12	78,271	13
栃木県	46.4	25	5.4	17	195,238	18	49,042	23
群馬県	47.4	20	4.9	21	179,896	20	49,251	22
埼玉県	55.2	2	8.1	5	1,093,473	6	256,980	5
千葉県	53.1	7	9.4	3	1,102,145	5	242,396	6
東京都	56.8	1	13.8	1	4,258,869	1	764,687	1
神奈川県	54.3	5	10.6	2	2,037,064	2	415,424	2
新潟県	50.6	11	3.2	41	139,332	25	45,383	25
富山県	54.5	4	5.0	19	88,889	32	26,774	32
石川県	50.9	10	6.2	14	113,417	26	34,248	27
福井県	49.0	14	4.8	22	71,842	37	20,830	38
山梨県	47.8	17	6.7	12	84,158	34	22,763	36
長野県	47.8	17	4.6	24	180,446	19	52,797	17
岐阜県	48.2	15	6.9	11	241,446	14	60,812	14
静岡県	46.8	22	5.6	16	429,821	10	110,853	10
愛知県	55.0	3	8.0	8	1,298,989	4	295,374	4
三重県	51.3	9	6.3	13	212,773	17	53,945	15
滋賀県	54.2	6	7.4	10	225,971	15	53,728	16
京都府	49.8	12	8.0	8	478,234	9	106,711	11
大阪府	48.0	16	8.1	5	1,703,734	3	374,008	3
兵庫県	49.1	13	8.4	4	989,089	7	216,532	7
奈良県	52.1	8	8.1	5	221,482	16	50,292	21
和歌山県	42.5	33	4.5	26	92,822	31	25,001	34
鳥取県	39.7	39	3.1	42	37,806	45	12,098	46
島根県	39.7	39	3.1	42	32,316	47	11,484	47
岡山県	44.2	28	5.0	19	179,801	21	50,751	20
広島県	44.0	29	4.2	30	285,325	13	80,492	12
山口県	42.9	32	4.6	24	105,829	28	30,467	28
徳島県	41.4	34	4.3	28	55,609	41	16,412	43
香川県	40.7	37	3.8	35	82,147	36	24,378	35
愛媛県	41.1	36	3.5	38	94,863	30	29,647	30
高知県	33.0	45	3.8	35	39,888	44	12,980	45
福岡県	46.0	26	6.2	14	728,740	8	188,855	8
佐賀県	43.7	30	4.2	30	71,500	38	21,402	37
長崎県	36.4	44	3.7	37	96,232	29	29,577	31
熊本県	40.7	37	4.0	33	151,377	24	45,392	24
大分県	44.3	27	4.1	32	84,294	33	26,651	33
宮崎県	39.5	42	3.4	39	57,607	39	20,633	39
鹿児島県	39.6	41	2.9	44	83,241	35	29,672	29
沖縄県	28.3	47	4.5	26	162,266	23	52,441	19

資料出所 調査時点又は期間 調査周期
 *1,2 「社会生活基本調査」総務省統計局 平成28年10月 5年
 *3 「出入国管理統計」法務省 令和元年 毎年
 *4 「旅券統計」外務省 令和元年 毎年

年齢階級別日本人出国者数(令和元年)



国内観光旅行の行動者率は、全国第2位

「社会生活基本調査」によると、平成28年10月現在、過去1年間に国内観光旅行(1泊2日以上)をした人は3,616千人で、全国第5位でした。行動者率(10歳以上人口に占める行動者数の割合)は55.2%で、全国第2位となっています。

また、海外観光旅行(1泊2日以上)の行動者率は8.1%で、全国第5位でした。なお、「旅行・観光消費動向調査」によると、令和2年第2四半期の本県を主目的地とする国内旅行者数は延べ746千人(前年同期比△79.9%)でした。

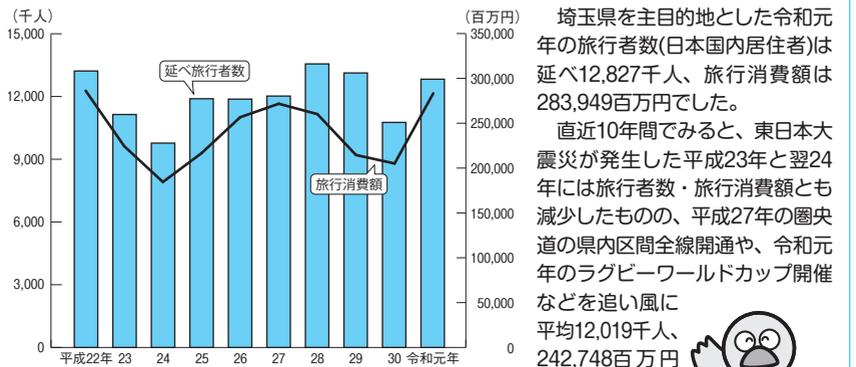
日本人出国者数 男性は40歳代、女性は20歳代が最多

「出入国管理統計」によると、令和元年の本県を住所地とする日本人出国者数は、1,093,473人(男性581,318人、女性512,155人)で前年より46,379人増加し、全国第6位でした。年齢階級別で見ると、男性は40歳代が129,343人、女性は20歳代が149,279人で最も多くなっています。

「旅券統計」によると、令和元年の一般旅券発行数は256,980冊で、前年より9,216冊増加しました。

※表*1,2の調査の対象は、10歳以上の世帯員です。
 ※表*3の全国計は、住所地が外国の者及び不詳を含みます。
 ※表*4の数値は、在外公館での旅券発行分を含みません。

~日本人国内延べ旅行者数と旅行消費額の推移~



埼玉県を主目的地とした令和元年の旅行者数(日本国内居住者)は延べ12,827千人、旅行消費額は283,949百万円でした。直近10年間でみると、東日本大震災が発生した平成23年と翌24年には旅行者数・旅行消費額とも減少したものの、平成27年の圏央道の県内区間全線開通や、令和元年のラグビーワールドカップ開催などを追い風に平均12,019千人、242,748百万円となっています。



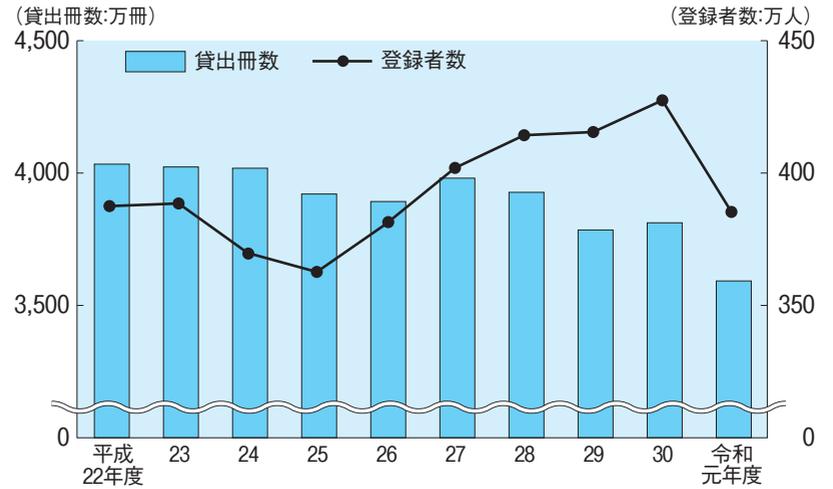
37 文化施設

単位	*1 図書館数		*2 博物館及び博物館類似施設数		*3 公民館及び公民館類似施設数		*4 劇場、音楽堂等数	
	館	順位	館	順位	館	順位	館	順位
	全 国	3,360		5,738		14,281		1,827
北海道	152	3	331	2	439	6	73	5
青森県	35	38	95	28	257	27	21	39
岩手県	47	28	104	23	187	37	27	31
宮城県	35	38	130	16	449	3	40	17
秋田県	48	27	91	31	361	11	23	34
山形県	40	32	81	36	448	4	23	34
福島県	68	16	133	15	376	9	35	22
茨城県	64	18	103	24	271	25	37	19
栃木県	55	22	154	10	190	36	31	26
群馬県	57	20	91	31	234	29	42	15
埼玉県	172	2	130	16	505	2	75	4
千葉県	144	5	115	20	309	19	54	9
東京都	398	1	312	3	114	43	119	1
神奈川県	85	11	178	8	168	39	72	6
新潟県	79	13	207	5	427	7	48	11
富山県	57	20	112	21	307	21	30	29
石川県	40	32	134	14	301	22	30	29
福井県	37	37	89	33	207	31	21	39
山梨県	53	24	98	25	308	20	22	36
長野県	126	6	345	1	1,802	1	46	13
岐阜県	71	14	173	9	288	24	46	13
静岡県	96	10	195	6	72	47	54	9
愛知県	98	9	215	4	358	12	77	3
三重県	47	28	98	25	327	15	36	20
滋賀県	50	26	77	38	91	46	35	22
京都府	68	16	144	11	161	40	32	25
大阪府	147	4	108	22	215	30	67	7
兵庫県	107	8	194	7	311	18	67	7
奈良県	33	40	50	43	370	10	31	26
和歌山県	26	47	39	47	318	17	19	41
鳥取県	30	43	45	45	178	38	14	45
島根県	40	32	84	35	196	34	22	36
岡山県	70	15	124	18	405	8	40	17
広島県	84	12	135	13	299	23	42	15
山口県	55	22	97	27	191	35	35	22
徳島県	28	46	46	44	327	15	13	46
香川県	30	43	55	41	161	40	15	44
愛媛県	45	30	93	29	444	5	25	32
高知県	41	31	41	46	203	32	13	46
福岡県	114	7	136	12	337	13	78	2
佐賀県	30	43	56	40	129	42	18	42
長崎県	38	36	89	33	200	33	36	20
熊本県	52	25	93	29	334	14	31	26
大分県	33	40	80	37	245	28	22	36
宮崎県	32	42	55	41	93	45	24	33
鹿児島県	63	19	119	19	268	26	48	11
沖縄県	40	32	64	39	100	44	18	42

資料出所 *1～4「社会教育調査」文部科学省

調査時点又は期間 調査周期
平成30年10月1日 おおむね3年

市町村立図書館貸出冊数と登録者数の推移



注) 貸出冊数は自動車図書館分を含み、団体貸出分を除く。
資料:「埼玉の公立図書館」埼玉県図書館協会

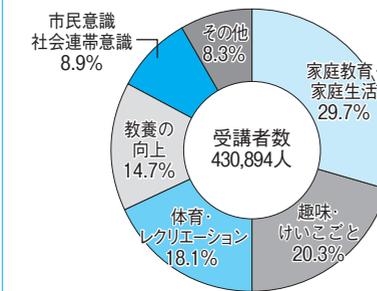
全国でも上位の文化施設数

「社会教育調査」によると、平成30年10月1日現在の図書館数は、前回調査(平成27年)より5館増加して172館で、前回に引き続き全国第2位でした。博物館数は前回調査と同じ25館、博物館類似施設数は3館増加して105館で、合計すると3館増加の130館となり、前回に引き続き全国第16位でした。また、劇場、音楽堂等数は前回調査と同じ75館で、前回に引き続き全国第4位でした。一方、公民館数は前回調査より4館減少して489館、公民館類似施設数は4館増加して16館で、合計すると前回と同じ505館でしたが、全国順位は第4位から第2位になりました。

「埼玉の公立図書館」によると、市町村立図書館の令和元年度の貸出冊数は36,363,639冊(前年度比△5.7%)、登録者数(年度末現在)は、3,853,096人(同△9.9%)でした。

なお、「月刊統計資料(県統計課)」によると、令和2年第2四半期の県立図書館における図書資料貸出冊数は、4月2,704冊(前年同月比△83.9%)、5月4,815冊(同△74.1%)、6月16,150冊(同△18.1%)でした。

～公民館等における学級・講座受講状況～



「社会教育調査」によると、平成29年度の公民館及び公民館類似施設における学級・講座の受講者数は430,894人で、兵庫県(1,183,936人)、福岡県(532,073人)に次いで全国第3位でした。

学習内容別にみると、育児や料理、介護、ライフプランなどの「家庭教育・家庭生活」が29.7%で最も多く、次いで華道やパソコンなどの「趣味・けいこごと」が20.3%、スポーツや野外活動などの「体育・レクリエーション」が18.1%となっています。



資料:「社会教育調査」文部科学省

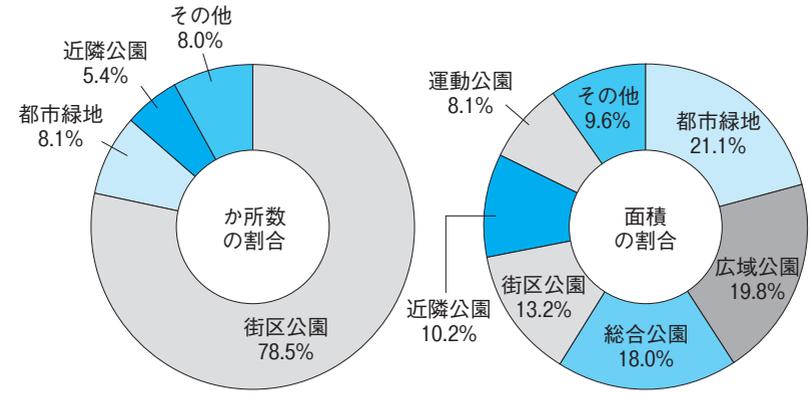
おしえてコバトン

38 公園・道路

単位	*1 都市公園数		*2 都市公園面積		*3 道路実延長		*4 歩道設置率 (国・都道府県道)	
	か所	順位	ha	順位	km	順位	%	順位
全 国	110,279		127,321		1,215,842.7		46.2	
北海道	7,664	2	14,052	1	89,693.3	1	46.9	21
青森県	876	33	2,069	18	19,997.2	24	36.7	40
岩手県	1,272	24	1,534	32	33,103.1	12	42.8	31
宮城県	(3,092)	-	(4,018)	-	25,199.2	21	55.9	9
秋田県	609	38	1,878	25	23,657.8	23	43.7	28
山形県	855	34	1,879	24	16,630.6	31	51.4	13
福島県	(1,196)	-	(2,364)	-	(38,883.1)	-	36.1	41
茨城県	2,111	17	2,782	15	55,363.5	2	65.9	4
栃木県	2,227	16	2,780	16	25,323.0	19	52.6	12
群馬県	1,474	21	2,615	17	34,870.8	11	48.1	16
埼玉県	5,352	8	5,160	5	47,056.4	5	72.6	2
千葉県	7,243	4	4,287	9	40,785.8	6	54.0	11
東京都	8,314	1	5,934	3	24,269.2	22	71.6	3
神奈川県	7,610	3	5,049	6	25,672.6	18	64.0	5
新潟県	2,406	14	3,118	11	37,217.2	8	43.6	29
富山県	2,064	18	1,626	28	13,878.3	36	47.0	20
石川県	1,127	28	1,549	31	13,097.6	38	47.7	17
福井県	924	31	1,198	38	10,863.4	43	33.3	44
山梨県	207	45	793	41	11,101.0	41	37.3	38
長野県	980	30	2,793	14	47,751.9	4	37.8	36
岐阜県	1,455	22	2,030	19	30,602.7	14	41.8	32
静岡県	2,571	12	3,134	10	36,709.6	9	43.3	30
愛知県	4,812	9	5,838	4	50,226.9	3	59.6	7
三重県	2,789	11	1,716	27	25,213.8	20	37.0	39
滋賀県	616	37	1,276	37	12,388.5	40	45.2	24
京都府	2,398	15	1,954	21	15,607.1	33	39.1	35
大阪府	6,585	5	4,765	7	19,559.5	26	61.9	6
兵庫県	6,067	7	7,120	2	36,417.3	10	41.3	33
奈良県	2,423	13	1,829	26	12,713.7	39	28.4	45
和歌山県	288	42	746	43	13,728.8	37	27.3	47
鳥取県	314	41	658	44	8,845.8	45	49.6	14
島根県	413	40	1,104	39	18,149.5	29	40.3	34
岡山県	1,655	20	2,861	13	32,032.1	13	35.1	43
広島県	3,169	10	2,994	12	28,813.5	15	46.4	22
山口県	1,143	27	1,995	20	16,446.4	32	43.8	27
徳島県	269	43	588	45	15,172.7	34	28.0	46
香川県	504	39	1,617	29	10,200.7	44	48.9	15
愛媛県	620	36	1,568	30	18,226.1	28	35.1	42
高知県	885	32	755	42	14,104.3	35	37.5	37
福岡県	6,148	6	4,705	8	37,633.4	7	55.1	10
佐賀県	266	44	877	40	10,949.2	42	57.6	8
長崎県	1,206	25	1,533	33	18,028.5	30	46.1	23
熊本県	1,783	19	1,505	35	25,964.3	17	43.9	26
大分県	1,149	26	1,277	36	18,348.0	27	44.6	25
宮崎県	1,014	29	1,935	23	19,981.4	25	47.3	19
鹿児島県	1,323	23	1,951	22	27,247.0	16	47.3	18
沖縄県	811	35	1,512	34	8,116.9	46	78.9	1

資料出所 調査時点又は期間 調査周期
 *1,2 国土交通省 平成31年3月31日 毎年
 *3,4 「道路統計年報」国土交通省 平成30年4月1日 毎年

都市公園の種類別構成比(平成31年3月31日現在)



資料:県公園スタジアム課

都市公園数は前年より46か所増加

国土交通省によると、平成31年3月31日現在の都市公園数は、前年より46か所増えて5,352か所、総面積は5,160haで全国第5位でした。

また、県公園スタジアム課によると、一人当たり公園面積は6.96㎡でした。

国・県道の歩道設置率は全国第2位

「道路統計年報」によると、平成30年4月1日現在の道路実延長は47,056km、舗装率(簡易舗装を除く)は17.2%でした。

また、国・都道府県道の歩道設置率は72.6%で全国第2位でした。

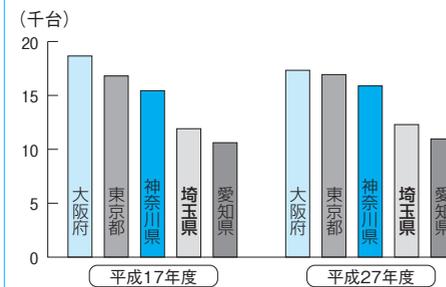
$$\text{歩道設置率} = \frac{\text{歩道設置道路実延長}}{\text{国・都道府県道実延長}} \times 100$$

※表*1,2は、都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特定地区公園(カントリパーク)を含み、面積は小数点以下第1位を四捨五入しています。

※表*1,2の宮城県及び福島県、表*3の福島県は、東日本大震災の影響により、一部に調査時点以前のデータを使用しています。そのため、カッコ書きとし、順位は付けていません。

※表*3は、一般国道、都道府県道と市町村道の合計です。

~道路平均交通量の変化と全国順位~



「社会生活統計指標」によると、道路平均交通量(平日12時間当たりの自動車の走行距離の総和を区間延長の総和で除したものは、平成17年度(11,913台)、平成27年度(12,295台)のいずれも全国第4位でした。

この2か年度で上位5都府県の順位は変わらず、1位大阪府(17,330台)、2位東京都(16,932台)、3位神奈川県(15,881台)、5位愛知県(10,962台)となっています(いずれも平成27年度の数字)。

資料:「社会生活統計指標」総務省統計局



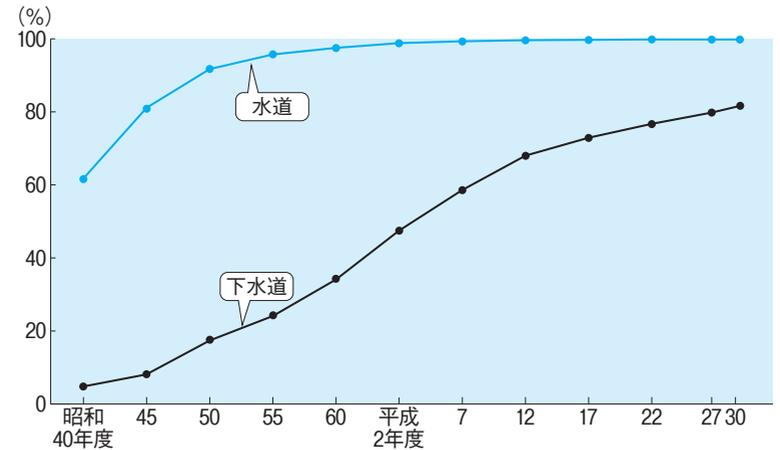
39 上下水道

単位	*1 上水道実績 年間給水量		*2 水道普及率		*3 下水道処理 人口普及率		*4 汚水処理 人口普及率	
	千m	順位	%	順位	%	順位	%	順位
	全 国	14,662,922		98.0		79.7		91.7
北海道	535,944	8	98.1	24	91.4	6	95.7	10
青森県	133,475	33	97.6	26	61.0	34	80.1	40
岩手県	132,348	35	94.0	40	60.7	35	82.6	34
宮城県	263,462	16	99.2	16	82.5	12	92.3	17
秋田県	105,942	40	91.7	45	66.2	29	88.0	23
山形県	126,434	37	99.0	18	77.6	17	93.1	13
福島県	210,739	22	(94.2)	-	(54.1)	-	(83.7)	-
茨城県	311,057	12	94.7	36	63.0	32	85.6	31
栃木県	241,696	20	95.7	32	67.9	26	87.7	24
群馬県	275,565	15	99.5	11	54.6	39	81.8	37
埼玉県	833,514	5	99.8	7	81.9	13	92.8	16
千葉県	641,946	7	95.4	34	75.5	21	89.1	20
東京都	1,576,583	1	100.0	1	99.6	1	99.8	1
神奈川県	1,062,870	3	99.9	3	96.9	2	98.1	5
新潟県	289,758	14	99.5	11	76.4	19	88.3	22
富山県	114,253	39	93.3	42	85.9	8	97.2	8
石川県	138,497	31	98.7	21	84.3	9	94.4	12
福井県	95,860	43	96.4	31	80.9	15	96.4	9
山梨県	101,495	41	98.3	23	66.6	28	83.8	33
長野県	263,283	17	98.9	20	84.1	10	98.1	6
岐阜県	258,399	18	95.5	33	76.8	18	92.9	15
静岡県	498,988	9	99.0	18	63.9	30	82.2	35
愛知県	860,802	4	99.9	3	79.3	16	91.4	18
三重県	251,985	19	99.6	10	55.9	37	86.0	30
滋賀県	175,368	25	99.7	8	91.1	7	98.9	2
京都府	313,221	11	99.7	8	94.9	4	98.4	4
大阪府	1,086,728	2	100.0	1	96.2	3	98.0	7
兵庫県	654,588	6	99.9	3	93.3	5	98.9	3
奈良県	153,855	29	99.3	13	81.2	14	89.3	19
和歌山県	133,235	34	99.3	13	27.9	45	66.0	45
鳥取県	64,159	47	98.0	25	72.3	22	94.8	11
島根県	80,158	45	97.4	29	49.7	41	81.3	39
岡山県	228,660	21	99.2	16	68.25	25	87.3	27
広島県	302,408	13	94.6	37	75.8	20	88.8	21
山口県	173,393	26	93.7	41	66.8	27	87.5	25
徳島県	100,516	42	97.0	30	18.4	46	63.4	46
香川県	127,208	36	99.3	13	45.8	42	78.8	42
愛媛県	148,375	30	93.2	43	55.4	38	80.0	41
高知県	79,171	46	94.2	39	40.1	44	74.6	44
福岡県	486,358	10	94.6	37	82.6	11	93.0	14
佐賀県	86,408	44	95.1	35	62.0	33	84.7	32
長崎県	154,507	28	98.5	22	63.2	31	81.7	38
熊本県	170,794	27	88.1	46	69.0	24	87.4	26
大分県	120,211	38	92.2	44	51.5	40	77.7	43
宮崎県	135,919	32	97.5	28	60.4	36	87.1	28
鹿児島県	180,430	24	97.6	26	42.4	43	81.9	36
沖縄県	182,357	23	99.9	3	72.0	23	86.4	29

資料出所
*1 「水道統計 施設・業務編」(公社)日本水道協会
*2 「水道統計 施設・業務編」(公社)日本水道協会
*3,4 国土交通省

調査時点又は期間
平成30年度
平成30年度末
令和元年度末
調査周期
毎年
毎年
毎年

水道普及率と下水道処理人口普及率の推移(各年度末現在)



資料:「埼玉県の水道」県生活衛生課
県下水道事業課

水道普及率は99.8%

「水道統計」及び「埼玉県の水道」によると、平成30年度末現在の給水人口は7,309,980人で、水道普及率は前年度末と同じ99.8%でした。

上水道事業は平成30年度末現在で55事業(62市町)あり、平成30年度の実績年間給水量は8億3,351万m³で全国第5位でした。上水道の水源の74.5%が県営用水供給事業による水(県水)でした。

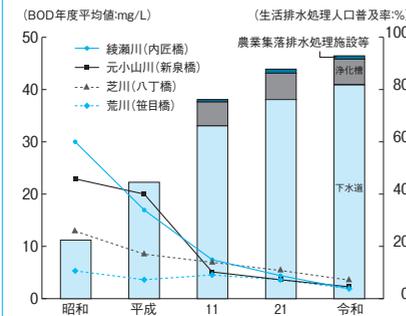
下水道処理人口普及率、汚水処理人口普及率ともに上昇

国土交通省によると、令和元年度末の下水道処理人口普及率は前年度末より0.7ポイント上昇して81.9%、汚水処理人口普及率は前年度末より0.6ポイント上昇して92.8%でした。

水道普及率 現在給水人口÷行政区域内人口×100
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口÷行政区域内人口×100
汚水処理人口普及率 汚水処理施設の整備人口÷行政区域内人口×100

※表*2～4のカッコ書きの数値(福島県)は、東日本大震災の影響で調査不能な市町村を除いた値です。そのため、カッコ書きとし、順位は付けていません。

～生活排水処理人口の割合と河川の水質～



注) 昭和54年度と平成元年度の生活排水処理人口普及率は、下水道のみの値。
資料: 県水環境課、県下水道事業課、国土交通省

一般的に、河川の水質は生物化学的酸素要求量(BOD)という数値で評価され、水質の良い水ほど数値が小さくなります。県内の河川では、下水道や合併処理浄化槽等の普及と共にBOD値が減少傾向にあります。なお、令和元年度の生活排水処理人口普及率は92.80%(下水道81.90%、浄化槽9.63%、農業集落排水処理施設等1.26%、コミュニティープラント0.01%)となっています。

「埼玉環境白書」によると、生活系の雑排水等が汚濁発生源の74.6%(平成29年度)を占めています。今後も下水道や合併処理浄化槽等の生活排水処理施設の整備を促進することが必要です。



40 環境

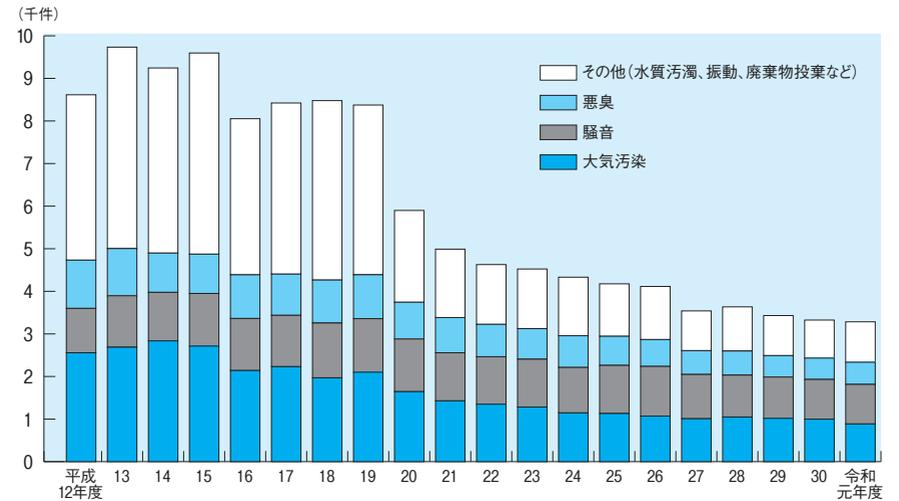
単位	*1 一般廃棄物(ごみ) 総排出量		*2 一人一日当たり ごみ排出量		*3 ごみのリサイクル率		*4 公害苦情件数	
	t	順位	g/人日	順位	%	順位	件	順位
	全 国	42,716,264		918		19.9		70,458
北海道	1,875,810	8	969	15	23.9	8	1,647	13
青森県	473,715	28	1,002	5	14.5	42	408	43
岩手県	424,967	32	930	27	18.2	26	493	38
宮城県	817,190	14	972	13	15.2	38	466	40
秋田県	361,443	38	989	8	15.9	37	414	42
山形県	365,370	37	915	30	14.3	43	522	37
福島県	721,322	16	1,029	3	12.9	46	539	34
茨城県	1,060,364	11	990	7	21.3	15	4,087	5
栃木県	663,761	19	918	29	15.9	35	1,493	16
群馬県	713,919	17	986	11	15.2	39	1,254	18
埼玉県	2,307,082	5	858	43	23.9	7	3,284	6
千葉県	2,064,300	6	897	35	22.4	11	4,595	3
東京都	4,383,468	1	875	41	21.6	14	6,273	1
神奈川県	2,834,103	3	845	44	24.3	5	2,692	8
新潟県	851,718	13	1,034	2	22.9	9	1,142	20
富山県	406,000	33	1,045	1	24.1	6	204	47
石川県	393,629	36	942	25	15.0	40	467	39
福井県	287,646	42	1,001	6	18.6	24	533	36
山梨県	299,168	41	985	12	17.0	29	729	31
長野県	621,829	22	811	47	20.6	18	2,122	11
岐阜県	652,087	20	891	37	18.2	27	1,795	12
静岡県	1,205,161	10	886	39	18.4	25	2,289	10
愛知県	2,514,869	4	911	31	21.9	13	5,312	2
三重県	629,059	21	947	23	26.4	4	1,502	15
滋賀県	432,758	31	834	46	18.7	22	814	28
京都府	799,066	15	838	45	15.9	36	1,564	14
大阪府	3,102,144	2	961	18	13.4	45	4,549	4
兵庫県	1,904,386	7	937	26	16.7	30	2,326	9
奈良県	446,736	30	898	34	16.2	32	770	30
和歌山県	338,944	39	962	16	12.1	47	1,057	22
鳥取県	212,379	47	1,027	4	29.6	2	324	45
島根県	239,104	46	954	20	21.9	12	318	46
岡山県	676,618	18	970	14	28.6	3	802	29
広島県	934,225	12	901	32	20.6	19	1,100	21
山口県	499,316	25	987	9	30.6	1	655	32
徳島県	261,417	44	954	21	16.6	31	535	35
香川県	311,337	40	863	42	18.9	21	563	33
愛媛県	452,090	29	895	36	17.2	28	861	26
高知県	251,852	45	961	17	20.7	17	344	44
福岡県	1,768,550	9	946	24	20.8	16	3,089	7
佐賀県	268,942	43	889	38	20.1	20	433	41
長崎県	477,499	26	958	19	14.9	41	859	27
熊本県	583,786	23	899	33	22.7	10	869	24
大分県	401,250	34	948	22	18.7	23	869	24
宮崎県	397,248	35	987	10	15.9	34	1,371	17
鹿児島県	553,143	24	923	28	16.2	33	1,249	19
沖縄県	475,494	27	884	40	13.8	44	875	23

資料出所
*1 ~ *3 「一般廃棄物処理実態調査」環境省
*4 「公害苦情調査」公害等調整委員会

調査時点又は期間
平成30年度
令和元年度

調査周期
毎年
毎年

公害苦情件数の推移



一般廃棄物(ごみ)の総排出量は前年度より増加

「一般廃棄物処理実態調査」によると、平成30年度の一般廃棄物(ごみ)の総排出量は前年度より2,818t増加して2,307,082tで、全国第5位でした。一人一日当たりのごみ排出量は前年度と同じ858g/人日で、全国第43位でした。

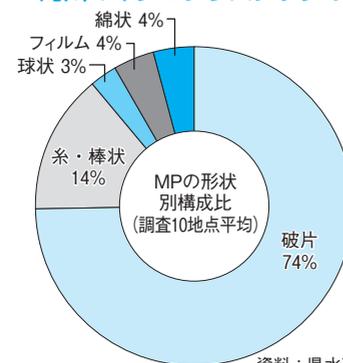
また、ごみのリサイクル率は23.9%で、前年度より0.1ポイント低下し全国第7位でした。

公害苦情件数は前年度より41件減少

「公害苦情調査」によると、令和元年度の公害苦情件数は、前年度より41件減少して3,284件でした。公害の種類別(典型7公害)では、騒音が930件で最も多く、次いで大気汚染885件、悪臭520件の順でした。

$$\text{ごみのリサイクル率} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

～河川マイクロプラスチックの状況～



近年、プラスチックごみによる海洋汚染が問題になっています。令和元年、県は東京湾に流下する県内5河川10地点で、マイクロプラスチック(以下MP。直径5mm以下のプラスチックごみ)の調査を行いました。

その結果、調査した全ての河川でMPが見つかりました。また、ポイ捨てや屋外に放置されたプラスチック製品の劣化による破片状のMPが全体の74%と最も多く占めていました。

MPの削減には、きちんと分別して捨てる、屋外で使うプラスチック製品は劣化前に交換すること等が大切です。



41 エネルギー

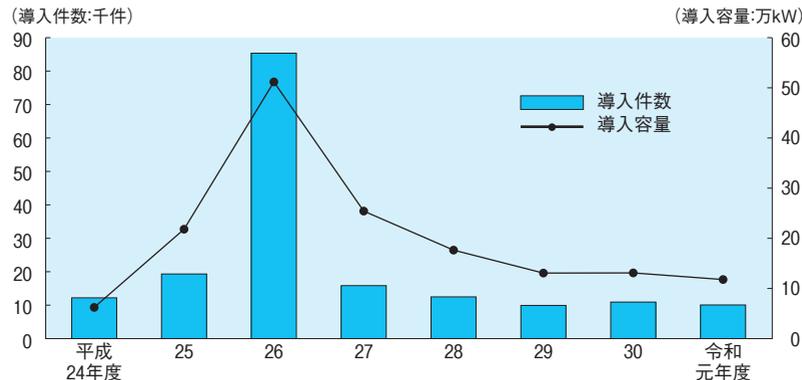
単位	*1 低圧電力需要量		*2 L Pガス(家庭業務用プロパンガス)販売量		*3 事業所のエネルギー消費量(電力)		*4 事業所のエネルギー消費量(燃料)	
	千kWh	順位	t	順位	原油換算千kℓ	順位	原油換算千kℓ	順位
全 国	303,353,928		7,381,449		10,658		195,285	
北海道	12,887,663	7	312,389	6	166	16	6,423	13
青森県	3,071,331	34	100,827	26	118	23	1,024	20
岩手県	3,202,088	32	100,646	27	48	37	577	23
宮城県	5,485,462	15	174,752	10	77	29	2,508	17
秋田県	2,493,039	41	67,632	38	116	24	276	33
山形県	2,767,367	37	77,823	35	31	40	13	45
福島県	4,590,386	22	142,309	16	77	29	350	28
茨城県	6,988,407	12	162,535	12	733	3	12,166	7
栃木県	4,896,303	19	4,896,303	19	31	40	128	31
群馬県	4,876,124	20	152,187	15	149	18	131	36
埼玉県	15,290,859	5	451,687	4	153	17	718	21
千葉県	13,097,014	6	253,498	8	948	2	29,622	1
東京都	31,246,672	1	614,930	1	49	36	128	37
神奈川県	18,410,407	3	587,604	3	393	12	17,945	2
新潟県	5,541,473	14	89,749	31	241	14	1,662	18
富山県	3,263,028	31	92,705	30	138	20	466	26
石川県	3,564,860	29	118,267	22	31	40	20	43
福井県	2,514,430	40	53,064	40	56	34	274	34
山梨県	2,156,547	42	39,040	44	24	44	18	44
長野県	5,482,100	16	108,572	25	40	39	104	39
岐阜県	5,143,322	17	117,060	23	120	22	651	22
静岡県	8,897,175	10	334,870	5	210	15	1,309	19
愛知県	17,494,457	4	596,855	2	1,090	1	11,159	8
三重県	4,663,526	21	139,033	17	545	8	7,679	11
滋賀県	3,570,302	27	70,641	37	93	26	332	29
京都府	6,435,320	13	63,348	39	57	33	292	32
大阪府	19,952,825	2	155,480	13	419	10	5,347	14
兵庫県	12,806,160	8	215,035	9	589	6	10,841	9
奈良県	3,140,077	33	36,052	46	2	47	0	47
和歌山県	2,714,429	38	49,378	41	144	19	6,529	12
鳥取県	1,532,089	47	24,939	47	20	45	330	30
島根県	1,945,630	46	81,802	33	87	28	87	40
岡山県	5,104,440	18	152,862	14	675	4	17,418	3
広島県	7,298,453	11	174,423	11	623	5	12,948	5
山口県	3,567,916	28	97,796	28	412	11	12,276	6
徳島県	2,122,634	44	36,643	45	103	25	124	38
香川県	2,696,744	39	118,463	21	74	31	3,902	16
愛媛県	3,603,819	26	120,742	20	266	13	4,748	15
高知県	1,981,022	45	44,459	42	26	43	493	25
福岡県	12,129,739	9	302,055	7	574	7	7,954	10
佐賀県	2,132,869	43	75,738	36	15	46	78	41
長崎県	3,428,448	30	114,302	24	46	38	6	46
熊本県	4,525,615	23	82,005	32	69	32	402	27
大分県	3,050,079	35	94,049	29	505	9	14,860	4
宮崎県	2,841,893	36	44,356	43	92	27	551	24
鹿児島県	4,248,076	25	133,539	18	55	35	173	35
沖縄県	4,499,969	24	125,716	19	31	40	56	42

資料出所
 *1 「電力調査統計」資源エネルギー庁
 *2 「LPガス資料年報」(株)石油化学新聞社
 *3、4 「石油等消費動態統計年報」資源エネルギー庁

調査時点又は期間
 令和元年度
 平成30年度
 令和元年

調査周期
 毎年
 毎年
 毎年

固定価格買取制度における太陽光発電の導入状況



注) 1 導入とは、固定価格買取制度の下で買取が開始された状態をいい、余剰電力買取制度からの移行分も含む。
 2 平成24年度は、平成24年7月1日から平成25年3月末までの値。

資料:資源エネルギー庁

低圧電力需要量は減少、LPガス(家庭業務用プロパンガス)販売量は増加

「電力調査統計」によると、令和元年度の電力需要のうち、家庭や商店向けの低圧電力の需要量は153億kWhで、前年度より2億kWh減少しました。

「LPガス資料年報」によると、平成30年度のLPガス(家庭業務用プロパンガス)の販売量は451,687tで、前年度より12,264t増加しました。

事業所のエネルギー消費量は、電力、燃料ともに減少

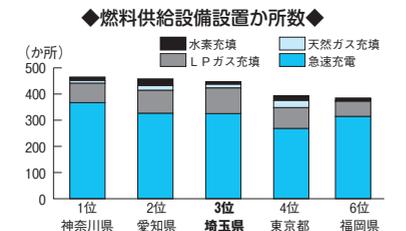
「石油等消費動態統計年報」によると、令和元年の事業所におけるエネルギー消費量は電力が153千kℓ(原油換算)で、前年より8千kℓ(原油換算)減少しました。燃料は718千kℓ(原油換算)で、前年より7千kℓ(原油換算)減少しました。

固定価格買取制度開始からの太陽光発電導入件数は、全国第2位

資源エネルギー庁によると、令和元年度の固定価格買取制度における太陽光発電の導入状況は、導入件数1万件、導入容量12万kWでした。制度開始(平成24年7月)から令和元年度末までの累計は、導入件数が18万件で愛知県に次いで全国第2位、導入容量が160万kWで全国第14位となっています。

※表*3、4の調査対象は、パルプ・紙工業、化学工業、化学繊維工業、石油製品工業、窯業製品及び土石製品工業、ガラス製品工業、鉄鋼業、非鉄金属地金工業、機械工業に属する事業所です。

～次世代自動車の燃料供給設備の普及状況～



注) 急速充電設備のか所数は、一般利用可と会員制(一般利用も可)の合計。
 資料: 燃料電池実用化推進協議会、
 「LPガス資料年報」(株)石油化学新聞社、
 (一社)日本ガス協会、(一社)チャデモ協議会

環境への負荷を低減させる新技術を搭載した次世代自動車への燃料供給設備の普及状況を見ると、急速充電設備の設置か所数は325か所(令和2年9月12日現在)で全国第3位、LPガス充填設備は98か所(令和元年9月末現在)で同1位、天然ガス充填設備は14か所(令和2年10月1日現在)で同4位、水素充填設備は10か所(令和2年8月現在)で同4位でした。

各設備ごとのか所数を合わせた合計のか所数では神奈川県、愛知県に次いで全国第3位となっています。



42 運輸

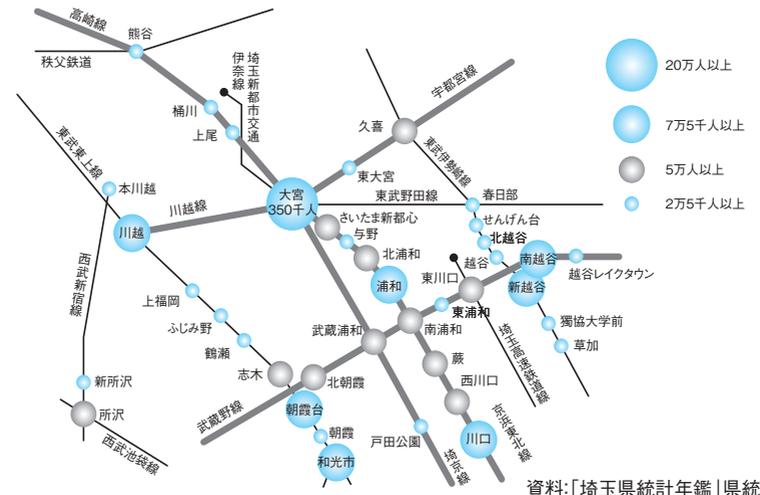
単位	*1 旅客輸送人員 (JR)		*2 旅客輸送人員 (民鉄)		*3 自動車旅客輸送人員 (営業用バス)		*4 自動車貨物輸送トン数	
	千人	順位	千人	順位	千人	順位	千t	順位
全 国	9,384,831.1		15,713,564.0		4,645,761		4,309,788	
北海道	135,580.9	10	241,973.0	10	191,029	10	291,119	2
青森県	10,701.1	39	6,630.2	32	30,195	25	60,704	26
岩手県	20,324.6	31	5,727.8	35	25,984	29	64,526	25
宮城県	110,534.1	14	95,856.3	12	69,465	14	111,453	12
秋田県	12,715.5	36	446.0	43	12,627	36	37,589	38
山形県	14,317.9	35	502.0	42	10,778	42	43,079	34
福島県	34,085.5	22	4,637.5	37	26,483	27	100,779	14
茨城県	89,322.7	15	38,342.6	16	55,160	15	139,729	11
栃木県	50,215.4	18	16,208.2	24	26,834	26	82,351	20
群馬県	36,606.9	21	16,161.5	25	14,140	35	86,311	18
埼玉県	653,444.3	5	654,323.6	7	248,524	6	240,590	3
千葉県	740,307.6	4	657,471.6	6	275,418	5	190,357	5
東京都	3,524,716.1	1	6,989,942.7	1	894,298	1	177,057	7
神奈川県	1,121,080.9	2	1,824,859.0	3	724,929	2	179,685	6
新潟県	56,766.9	17	5,456.2	36	48,483	17	82,981	19
富山県	9,351.3	43	32,137.4	17	12,600	37	43,188	33
石川県	21,280.2	29	14,169.9	28	37,231	20	42,227	35
福井県	10,926.8	38	5,745.0	34	11,171	41	36,129	41
山梨県	20,460.1	30	3,648.0	38	12,222	38	28,364	44
長野県	46,669.3	19	26,312.5	19	24,892	31	69,212	22
岐阜県	44,901.7	20	28,785.5	18	30,469	24	90,971	16
静岡県	127,235.3	12	40,395.0	15	79,388	12	169,503	9
愛知県	258,690.6	7	951,446.0	4	207,688	8	291,608	1
三重県	11,353.9	37	82,062.2	13	40,057	19	87,608	17
滋賀県	115,054.3	13	20,945.4	20	26,398	28	46,922	31
京都府	188,701.4	9	403,997.0	8	193,278	9	72,342	21
大阪府	805,146.5	3	2,221,939.3	2	284,101	3	238,300	4
兵庫県	416,789.8	6	687,854.3	5	244,068	7	164,707	10
奈良県	32,259.4	24	137,444.7	11	54,587	16	36,612	40
和歌山県	23,825.3	25	10,988.4	30	15,170	33	31,653	42
鳥取県	9,366.9	42	807.4	41	6,971	46	20,847	47
島根県	6,074.7	45	1,438.0	39	9,419	43	23,325	46
岡山県	73,068.8	16	6,308.2	33	30,563	23	93,495	15
広島県	131,102.3	11	72,521.6	14	104,564	11	110,086	13
山口県	33,637.8	23	157.0	45	25,533	30	50,533	28
徳島県	9,492.8	40	30.4	46	7,288	45	28,463	43
香川県	16,589.5	33	14,781.0	26	8,867	44	47,373	30
愛媛県	9,447.6	41	19,396.0	22	14,821	34	56,224	27
高知県	5,587.3	46	8,063.6	31	5,573	47	25,793	45
福岡県	236,873.8	8	297,002.0	9	275,731	4	172,324	8
佐賀県	18,921.7	32	860.0	40	11,707	40	39,073	37
長崎県	14,781.2	34	20,568.0	21	78,920	13	36,875	39
熊本県	23,567.7	26	14,293.8	27	31,890	22	66,991	24
大分県	22,046.0	28	162.0	44	20,338	32	43,264	32
宮崎県	8,523.4	44	-	-	11,715	39	47,736	29
鹿児島県	22,383.3	27	11,707.2	29	41,255	18	68,728	23
沖縄県	-	-	19,059.0	23	32,940	21	41,003	36

資料出所
*1,2 「旅客地域流動調査」国土交通省
*3,4 「交通関連統計資料集」国土交通省

調査時点又は期間
平成30年度
平成30年度

調査周期
毎年
毎年

主な駅の一日当たり乗車人員(令和元年度)



鉄道の旅客輸送人員はJR、民鉄ともに増加

「旅客地域流動調査」によると、平成30年度のJRの旅客輸送人員は、前年度より685万人増加して6億5,344万人(定期の旅客4億3,876万人、定期外の旅客2億1,468万人)でした。また、民鉄の旅客輸送人員も前年度より621万人増加して、6億5,423万人(定期の旅客4億2,543万人、定期外の旅客2億2,889万人)でした。

「交通関連統計資料集」によると、平成30年度の営業用バス輸送人員は、前年度より921万人増加して2億4,852万人でした。一方、自動車貨物輸送トン数は前年度より130万t減少して、2億4,059万tでした。

一日当たりの乗車人員が最も多い大宮駅

「埼玉県統計年鑑」によると、令和元年度の県内各駅の一日当たりの乗車人員は、大宮駅が350千人と他の駅を大きく引き離して最も多く、次いで川越駅101千人、浦和駅96千人、和光市駅90千人、川口駅84千人の順でした。

※グラフ中、大宮、川越、久喜、熊谷、東川口の各駅の乗車人員は、複数の鉄道事業者の同名駅の乗車人員を合計して算出しました。

～公共交通のバリアフリー整備状況(令和元年度末)～

◆鉄道駅の段差解消率◆				◆乗合バスの移動円滑化基準適合車両導入率◆					
順位	都道府県	総駅数	段差解消駅数	段差解消率	順位	都道府県	総車両数	適合車両数	導入率
1	沖縄県	19駅	19駅	100.0%	1	神奈川県	5,585台	5,182台	92.8%
2	東京都	761駅	739駅	97.1%	2	奈良県	475台	432台	90.9%
3	大阪府	518駅	477駅	92.1%	3	埼玉県	2,179台	1,951台	89.5%
4	埼玉県	237駅	214駅	90.3%	4	愛知県	2,259台	1,976台	87.5%
5	神奈川県	381駅	343駅	90.0%	5	東京都	6,805台	5,654台	83.1%

注) 段差解消駅とは、乗降場ごとに高齢者、障害者等の円滑な通行に適する経路を1以上確保している駅をいう。

注) 移動円滑化基準適合車両とは、低床である、運行に関する情報を文字や音声で提供する設備があるなどの基準に適合したバス車両をいう。

資料: 国土交通省

公共交通のバリアフリー化を進めることは、高齢者や障害者だけでなく、誰もが生き生きと安全に暮らせる環境づくりにつながります。本県の鉄道路駅の段差解消率は90.3%(全国第4位)、乗合バスの移動円滑化基準適合車両導入率は89.5%(同第3位)となっています。



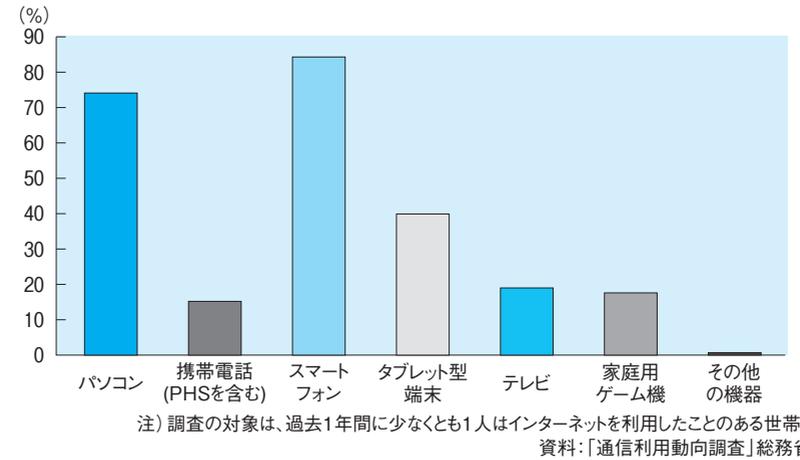
43 通信

単位	*1 加入(固定)電話契約数		*2 携帯電話・PHS契約数		*3 インターネット利用率(個人)		*4 ブロードバンドサービスの契約数	
	契約	順位	契約	順位	%	順位	契約	順位
全 国	17,242,220		179,872,794		89.8		112,408,179	
北海道	923,739	4	5,895,707	8	88.4	18	3,830,093	9
青森県	251,263	26	1,193,077	31	80.0	47	735,578	33
岩手県	233,019	29	1,168,610	33	85.9	33	708,073	36
宮城県	318,343	16	2,680,955	14	86.2	31	1,763,010	14
秋田県	188,956	31	918,106	40	82.8	44	537,179	40
山形県	160,955	35	1,039,742	38	81.0	46	676,663	37
福島県	307,809	18	1,868,427	21	81.8	45	1,267,408	20
茨城県	400,105	12	2,912,004	12	91.6	5	1,901,599	13
栃木県	266,751	23	1,959,606	20	87.7	23	1,240,733	22
群馬県	276,539	21	2,020,847	18	90.8	8	1,288,842	18
埼玉県	817,897	5	7,896,874	6	90.8	8	5,946,739	5
千葉県	715,804	7	6,654,827	7	91.5	6	5,145,136	6
東京都	1,876,185	1	53,622,797	1	95.7	1	26,078,266	1
神奈川県	1,041,101	3	10,362,330	3	92.7	3	8,185,634	3
新潟県	335,803	14	2,171,151	16	84.0	43	1,243,074	21
富山県	139,585	40	1,089,369	35	87.0	30	740,037	32
石川県	159,298	36	1,190,816	32	88.3	20	804,258	30
福井県	88,915	46	785,987	43	88.7	17	532,438	41
山梨県	134,501	42	852,212	41	87.7	23	522,838	42
長野県	324,681	15	2,209,218	15	87.2	28	1,369,280	16
岐阜県	265,742	24	2,029,266	17	85.3	36	1,431,249	15
静岡県	494,447	10	3,859,571	10	87.4	27	2,758,229	10
愛知県	809,403	6	9,617,688	4	91.3	7	6,639,061	4
三重県	245,304	27	1,821,398	22	89.7	13	1,270,577	19
滋賀県	138,045	41	1,388,804	28	90.8	8	1,009,221	25
京都府	344,377	13	2,848,874	13	91.7	4	2,229,862	11
大阪府	1,093,866	2	11,562,119	2	93.2	2	9,061,132	2
兵庫県	559,365	9	5,672,086	9	88.8	16	4,336,723	7
奈良県	164,482	33	1,341,371	29	89.3	14	996,758	26
和歌山県	148,574	37	943,434	39	87.6	26	612,287	39
鳥取県	81,943	47	547,967	47	86.1	32	357,660	47
島根県	134,306	43	670,166	46	84.9	38	410,572	46
岡山県	286,727	19	1,976,981	19	90.6	11	1,312,323	17
広島県	446,484	11	3,355,221	11	87.8	22	2,114,483	12
山口県	272,802	22	1,399,108	26	84.9	38	979,948	27
徳島県	113,946	44	730,036	44	87.1	29	466,459	44
香川県	139,600	39	1,046,049	37	88.3	20	665,165	38
愛媛県	234,922	28	1,394,763	27	84.9	38	856,835	29
高知県	141,651	38	699,776	45	85.6	34	420,482	45
福岡県	661,901	8	9,278,106	5	88.4	18	4,024,092	8
佐賀県	109,016	45	804,274	42	84.6	42	484,567	43
長崎県	256,654	25	1,331,605	30	84.7	41	794,871	31
熊本県	280,380	20	1,787,918	23	87.7	23	1,104,164	24
大分県	203,951	30	1,147,839	34	89.0	15	724,690	35
宮崎県	175,738	32	1,057,817	36	85.4	35	731,078	34
鹿児島県	315,219	17	1,577,438	24	85.1	37	946,086	28
沖縄県	162,126	34	1,490,457	25	90.1	12	1,152,727	23

資料出所
*1,2 「通信量から見た我が国の音声通信利用状況」総務省
*3 「通信利用動向調査」総務省
*4 「情報通信統計データベース」総務省

調査時点又は期間
平成30年度末
令和元年9月末
令和元年度末
調査周期
毎年
毎年
毎四半期

インターネットの利用機器別割合 (令和元年)



加入(固定)電話契約数は減少、携帯電話・PHS契約数は増加

「通信量から見た我が国の音声通信利用状況」によると、平成30年度末現在の加入(固定)電話契約数は、前年度より62,239契約減少して817,897契約でした。また、携帯電話・PHS契約数は、前年度より60,061契約増加して7,896,874契約でした。

インターネット利用率は上昇するも全国第8位

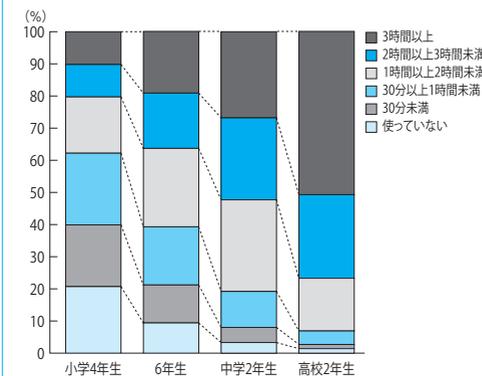
「通信利用動向調査」によると、令和元年9月末現在、過去1年間のインターネット利用率(個人)は、前回調査を5.1ポイント上回る90.8%でしたが、全国順位は前回調査の第2位から第8位となりました。

総務省によると、令和元年度末現在のブロードバンドサービスの契約数は5,946,739契約と、前年同期から2.4%上昇しました。

※表*4及び文中のブロードバンドサービスの契約数は、FTTH、DSL、CATV、FWA及びBWAの各アクセスサービスの合計値です。

～児童生徒のスマートフォン等の利用状況 (令和元年度)～

◆平日の平均インターネット利用時間◆



資料: 「児童生徒におけるスマートフォン等の利用状況等に関する調査」県生徒指導課

県内の公立学校に通う児童生徒のうち、自分専用のスマートフォンを持っているのは小学4年生が41.2%、6年生が59.7%、中学2年生が84.8%、高校2年生が98.7%でした。

平日の平均インターネット使用時間も年齢が上がるにつれて長くなっており、高校2年生では「3時間以上」が半数を超えています。

また、平成31年4月から令和元年12月まで、スマートフォン等を利用する際にいじめられたり、トラブルがあったりしたことがあるのは、小学4年生が4.0%、6年生が5.7%、中学2年生が6.5%、高校2年生が5.7%でした。



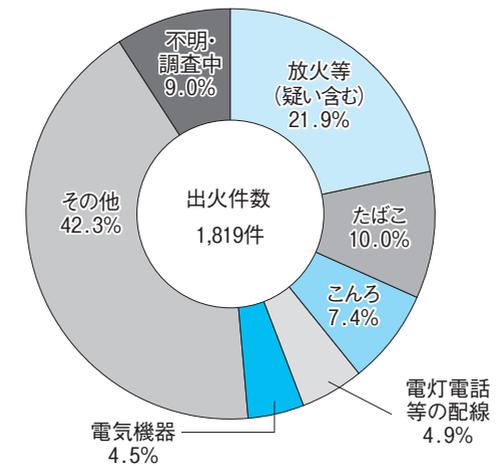
44 消防

出火原因別件数構成比(平成30年)

単位	出火件数		火災損害額		救急自動車 救急出動件数		救助活動件数	
	件	順位	千円	順位	件	順位	件	順位
全 国	37,981		84,627,241		6,605,213		61,507	
北海道	1,685	8	2,934,379	8	263,739	9	2,250	8
青森県	456	28	2,257,161	13	49,665	34	369	34
岩手県	384	33	1,318,464	24	53,297	33	376	33
宮城県	650	19	1,545,862	18	109,590	14	869	14
秋田県	291	42	611,156	40	41,206	41	303	40
山形県	305	41	652,521	39	45,683	38	342	36
福島県	632	21	1,331,728	23	84,757	23	502	24
茨城県	1,158	10	3,740,465	6	134,819	13	1,104	12
栃木県	636	20	1,683,332	16	84,040	24	587	20
群馬県	717	17	1,760,373	15	96,364	18	642	16
埼玉県	1,819	6	5,163,161	3	360,946	5	3,049	4
千葉県	1,924	4	3,266,907	7	331,042	6	2,871	5
東京都	4,025	1	6,116,531	1	823,075	1	17,982	1
神奈川県	1,886	5	4,873,484	5	493,267	3	2,501	7
新潟県	571	23	1,383,082	22	105,592	15	538	23
富山県	170	47	717,373	36	44,752	39	273	42
石川県	243	44	410,339	43	46,174	37	346	35
福井県	199	46	2,635,130	12	31,069	46	245	45
山梨県	349	35	787,216	35	40,943	42	319	38
長野県	941	12	1,265,815	26	99,342	17	611	19
岐阜県	725	16	1,659,085	17	92,510	20	754	15
静岡県	1,045	11	2,876,733	9	173,379	10	1,100	13
愛知県	2,082	2	4,978,328	4	365,113	4	2,524	6
三重県	738	15	1,442,387	21	100,560	16	582	21
滋賀県	406	32	791,731	34	65,578	30	491	26
京都府	551	24	1,099,774	29	146,241	11	1,583	10
大阪府	2,030	3	6,061,516	2	610,573	2	4,623	2
兵庫県	1,762	7	2,785,734	10	300,287	7	3,864	3
奈良県	454	29	1,481,635	19	75,157	26	544	22
和歌山県	336	37	658,658	38	53,616	32	485	28
鳥取県	223	45	282,086	47	27,734	47	270	43
島根県	309	39	374,963	44	31,842	45	299	41
岡山県	751	14	1,445,201	20	94,104	19	627	17
広島県	881	13	1,846,105	14	136,297	12	1,215	11
山口県	518	26	868,156	31	69,371	28	488	27
徳島県	275	43	841,959	32	35,435	44	248	44
香川県	338	36	562,573	42	48,735	35	306	39
愛媛県	411	31	877,452	30	70,363	27	493	25
高知県	308	40	327,017	46	42,414	40	235	46
福岡県	1,354	9	2,681,586	11	264,947	8	1,771	9
佐賀県	311	38	1,210,260	28	36,662	43	335	37
長崎県	537	25	1,318,206	25	68,723	29	384	32
熊本県	705	18	795,112	33	90,770	21	613	18
大分県	372	34	344,800	45	55,755	31	462	30
宮崎県	444	30	714,568	37	46,440	36	229	47
鹿児島県	605	22	1,239,885	27	84,936	22	477	29
沖縄県	469	27	607,252	41	78,309	25	426	31

資料出所
*1,2「消防白書」総務省消防庁
*3,4「救急・救助の現況」総務省消防庁

調査時点又は期間
平成30年
平成30年
調査周期
毎年
毎年



資料：「火災統計」県消防課

出火件数は2年ぶりに減少

「消防白書」によると、平成30年の出火件数は前年より197件減少して1,819件で、2年ぶりに減少しました。火災種別ごとに見ると、建物火災が1,006件と最も多く、全体の55.3%を占めています。また、火災による災害世帯数は979世帯、り災人員数は2,288人でした。

火災損害額は51億6,316万円で、このうち建物の損害額が50億409万円で全体の96.9%を占めています。

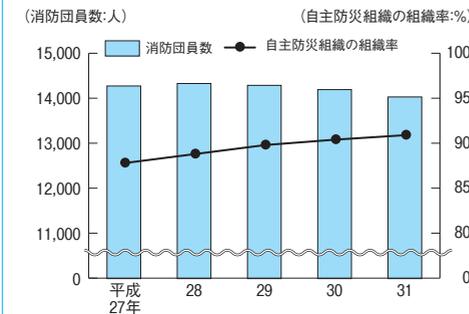
県消防課によると、平成30年の出火原因別件数は、放火等(放火の疑いを含む)の399件(全体の21.9%)が最も多く、次いでたばこ181件(同10.0%)、こんろ134件(同7.4%)の順でした。

救急出動件数は10年連続で増加

「救急・救助の現況」によると、平成30年の救急自動車による救急出動件数は、前年より13,806件増加して360,946件で、10年連続で増加しました。主な出動理由は、急病が233,701件と最も多く、次いで一般負傷50,798件、交通事故28,913件、転院搬送24,832件の順でした。

また、救助活動件数は3,049件で、救助人員は2,052人でした。主な活動理由は、建物等による事故が1,225件(救助人員955人)と最も多く、次いで火災645件(同77人)、交通事故450件(同495人)の順でした。

～消防団と自主防災組織～



注) 各年4月1日現在。
資料：「消防年報」県消防課

消防団は市町村の非常備の消防機関です。平成31年4月1日現在、本県では14,039人の消防団員が、通常は仕事をしながら、火災などの際は現場にいち早く駆けつけ、消火活動などを行っています。

また、自主防災組織の組織率(全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている地域の世帯数の割合)は90.9%となっています。



45 交通事故

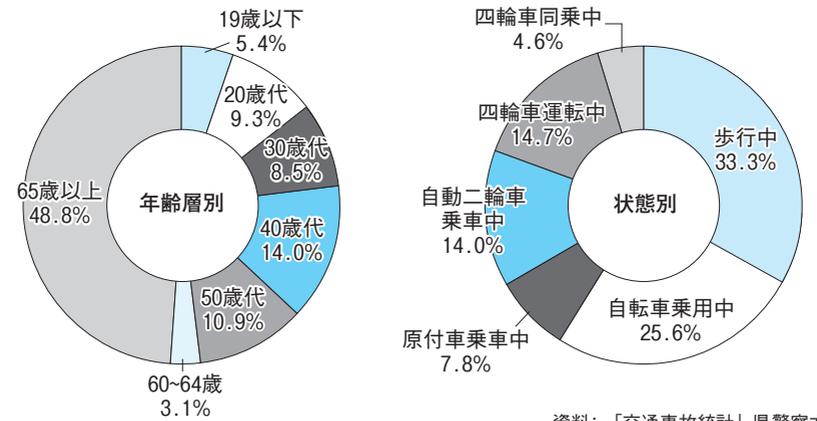
単位	交通事故件数		交通事故死者数		運転免許保有者数		道路交通法違反送致・告知件数(車両等の違反)	
	件	順位	人	順位	人	順位	件	順位
全 国	381,237		3,215		82,158,428		5,711,488	
北海道	9,595	11	152	3	3,342,775	8	218,521	9
青森県	2,791	37	37	34	835,014	31	34,253	40
岩手県	1,968	41	45	27	827,146	32	30,815	45
宮城県	5,675	16	65	19	1,544,213	15	77,040	16
秋田県	1,514	44	40	32	664,589	39	23,415	46
山形県	4,292	23	32	42	757,214	35	32,541	43
福島県	3,919	28	61	21	1,289,837	21	69,263	22
茨城県	7,447	12	107	9	2,047,647	11	105,415	12
栃木県	4,553	21	82	14	1,393,527	19	42,291	32
群馬県	11,831	10	61	21	1,404,545	18	69,027	23
埼玉県	21,359	8	129	8	4,709,168	5	351,521	5
千葉県	16,476	9	172	1	4,039,189	6	237,896	8
東京都	30,467	3	133	5	8,060,579	1	728,760	1
神奈川県	23,294	6	132	6	5,640,097	2	414,007	3
新潟県	3,484	31	93	12	1,549,828	14	64,791	25
富山県	2,353	40	34	36	742,966	37	57,611	28
石川県	2,408	39	31	43	779,578	33	63,701	26
福井県	1,168	45	31	43	539,830	43	59,282	36
山梨県	3,003	35	25	46	588,796	41	41,475	33
長野県	6,281	14	65	19	1,477,255	16	69,930	21
岐阜県	4,097	25	84	13	1,409,363	17	81,069	15
静岡県	25,102	5	101	10	2,544,132	10	173,631	10
愛知県	30,836	2	156	2	5,128,789	3	404,890	4
三重県	3,647	29	75	15	1,255,944	22	36,090	38
滋賀県	3,647	29	57	24	963,898	25	34,234	41
京都府	5,183	17	55	25	1,573,392	13	103,114	13
大阪府	30,914	1	130	7	5,116,697	4	459,290	2
兵庫県	22,896	7	138	4	3,455,014	7	324,459	6
奈良県	3,328	32	34	36	884,082	29	70,750	20
和歌山県	1,859	42	33	39	660,195	40	40,192	34
鳥取県	805	47	31	43	378,109	47	32,583	42
島根県	927	46	25	46	456,192	46	34,962	39
岡山県	4,690	20	75	15	1,289,926	20	76,195	18
広島県	6,257	15	75	15	1,857,655	12	141,136	11
山口県	3,209	33	45	27	911,575	28	76,996	17
徳島県	2,515	38	41	30	516,334	44	22,114	47
香川県	4,537	22	47	26	673,728	38	60,519	27
愛媛県	2,811	36	42	29	915,723	27	31,539	44
高知県	1,556	43	33	39	475,868	45	36,227	37
福岡県	26,936	4	98	11	3,300,954	9	297,263	7
佐賀県	5,040	18	34	36	560,545	42	43,876	31
長崎県	3,959	27	33	39	847,606	30	66,746	24
熊本県	4,104	24	69	18	1,183,842	23	70,874	19
大分県	3,037	34	41	30	766,591	34	39,310	35
宮崎県	6,621	13	39	33	749,010	36	48,344	30
鹿児島県	4,771	19	61	21	1,099,081	24	52,354	29
沖縄県	4,075	26	36	35	950,390	26	81,176	14

資料出所 *1,2 「交通事故発生状況」警察庁
 *3 「運転免許統計」警察庁
 *4 「令和元年の犯罪」警察庁

調査時点又は期間 令和元年
 令和元年末
 令和元年

調査周期 毎年
 毎年
 毎年

交通事故死者数構成比(令和元年)



資料: 「交通事故統計」県警察本部

交通事故件数、負傷者数、死者数ともに減少

「交通事故発生状況」によると、令和元年に発生した交通事故(人身事故)は前年より2,764件減少して21,359件でした。また、負傷者数は3,390人減少して25,704人、死者数は46人減少して129人でした。死者数は全国で8番目に多くなっていますが、人口十万人当たりでは1.76人と全国で4番目に少なくなっています。

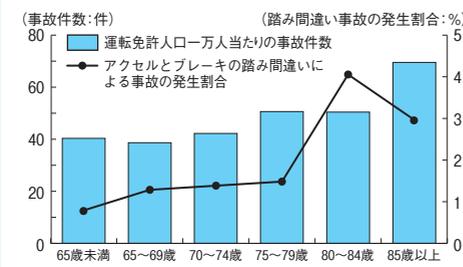
「交通事故統計」によると、年齢層別の死者数は65歳以上の高齢者が63人と最も多く、全体の48.8%を占めています。また、状態別では「歩行中」が43人と最も多く、次いで「自転車乗用中」が33人と続き、この二つで全体の半数を超えています。

運転免許保有者数は増加、道路交通法違反送致・告知件数は減少

「運転免許統計」によると、令和元年末の運転免許保有者数は、前年より3,143人増加して4,709,168人でした。男女別の割合をみると、男性が56.2%、女性が43.8%で、その差は年々縮小しています。

「令和元年の犯罪」によると、令和元年の道路交通法違反での送致・告知件数(車両等の違反)は、前年より11,258件減少して351,521件でした。

～高齢運転者による交通事故発生状況(令和元年)～



資料: 「交通事故統計」県警察本部

高齢運転者の運転免許人口一万人当たりの事故件数は、年齢が上がるにつれて多くなり、85歳以上では65歳未満(40.8件)の約1.7倍の70.3件となっています。

また、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故をみると、80歳以上の発生割合が高くなっており、65歳未満の0.8%に対して、80歳から84歳は約5.1倍、85歳以上は約3.8倍となっています。



46 犯罪

単位	*1 刑法犯認知件数		*2 刑法犯検挙率		*3 刑法犯少年・ 触法少年(刑法) 検挙・補導人員		*4 特殊詐欺被害額	
	件	順位	%	順位	人	順位	千円	順位
全 国	748,559		39.3		26,076		31,582,938	
北海道	23,607	9	47.1	25	1,005	9	416,503	13
青森県	3,488	37	57.0	12	134	41	102,807	38
岩手県	3,063	43	60.4	10	177	35	149,417	29
宮城県	12,979	14	40.8	38	302	23	281,218	17
秋田県	2,162	46	78.9	1	89	47	212,368	24
山形県	3,275	40	69.9	3	173	36	236,510	22
福島県	9,416	21	46.1	27	230	29	174,963	27
茨城県	20,312	10	35.9	41	366	17	633,133	9
栃木県	11,155	17	42.2	34	278	25	460,474	12
群馬県	11,699	16	51.2	19	339	19	604,254	11
埼玉県	55,497	3	33.8	44	1,302	7	2,457,764	5
千葉県	41,793	5	30.8	46	1,021	8	2,558,121	3
東京都	104,664	1	32.8	45	3,598	1	7,586,219	1
神奈川県	41,780	6	42.5	33	1,506	5	5,392,151	2
新潟県	10,743	18	52.3	17	345	18	262,992	19
富山県	4,508	31	51.0	20	229	30	59,906	43
石川県	4,508	31	49.8	22	162	37	60,355	42
福井県	3,132	41	64.6	5	99	46	114,674	37
山梨県	3,985	35	46.4	26	157	38	119,570	35
長野県	8,504	22	48.8	23	303	22	237,870	21
岐阜県	12,857	15	37.3	39	400	15	277,538	18
静岡県	17,876	11	45.4	29	720	11	617,229	10
愛知県	49,956	4	34.8	42	1,581	3	1,035,466	7
三重県	10,322	19	37.1	40	237	28	142,268	30
滋賀県	6,771	24	41.9	35	336	20	407,851	14
京都府	15,136	12	34.4	43	563	12	298,544	16
大阪府	84,672	2	26.1	47	2,556	2	2,518,472	4
兵庫県	40,395	7	40.9	37	1,538	4	1,098,420	6
奈良県	6,616	25	61.6	9	372	16	238,413	20
和歌山県	4,363	33	62.0	8	225	31	86,829	40
鳥取県	2,029	47	73.4	2	122	42	27,769	46
島根県	2,310	45	64.2	6	122	42	91,825	39
岡山県	9,436	20	44.4	30	555	13	218,642	23
広島県	14,160	13	45.6	28	769	10	321,802	15
山口県	5,196	29	55.3	13	276	26	209,225	25
徳島県	3,111	42	53.2	16	121	44	77,750	41
香川県	4,962	30	54.2	14	220	32	123,286	33
愛媛県	7,446	23	41.6	36	301	24	172,484	28
高知県	3,562	36	43.4	31	155	39	50,996	44
福岡県	34,520	8	42.6	32	1,363	6	694,822	8
佐賀県	3,400	38	63.1	7	144	40	114,871	36
長崎県	3,394	39	64.9	4	194	33	205,832	26
熊本県	6,498	27	53.4	15	323	21	131,103	31
大分県	3,018	44	49.9	21	120	45	123,272	34
宮崎県	3,993	34	47.8	24	180	34	29,304	45
鹿児島県	5,776	28	51.3	18	247	27	127,519	32
沖縄県	6,514	26	59.3	11	521	14	20,131	47

資料出所 調査時点又は期間 調査周期
 *1,2 「犯罪統計資料」警察庁 令和元年 毎年
 *3 「少年の補導及び保護の概況」警察庁 令和元年 毎年
 *4 県警察本部 令和元年 毎年

刑法犯認知件数と検挙率の推移



資料:「犯罪情勢」警察庁

刑法犯認知件数は15年連続で減少

「犯罪統計資料」及び「埼玉県の刑法犯認知・検挙状況」によると、令和元年の刑法犯認知件数(道路上の交通事故に係る危険運転致死傷罪、業務上(重)過失致死傷罪及び自動車運転過失致死傷罪を除く)は、前年より4,504件少ない55,497件で、15年連続の減少となりました。

罪種別にみると、窃盗犯が40,545件(前年比4,140件減)で全体の73.1%を占め、次いで粗暴犯3,766件、知能犯2,146件、風俗犯579件、凶悪犯337件の順でした。検挙率は、前年より3.1ポイント上昇して33.8%でした。

県警察本部によると、特殊詐欺の令和元年の認知件数は1,459件と東京都、神奈川県、大阪府に次いで全国4番目でした。被害金額は24億5,776万円で、全国5番目でした。

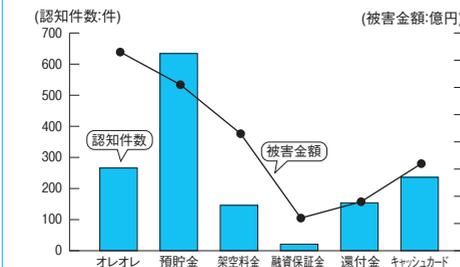
刑法犯少年・触法少年(刑法)の検挙・補導人員は全国第7位

「少年の補導及び保護の概況」によると、令和元年の刑法犯少年・触法少年(刑法)の検挙・補導人員は1,302人で全国第7位でした。

このうち、刑法犯少年は1,176人(男子981人、女子195人)で、触法少年(刑法)は126人(男子102人、女子24人)でした。

検挙率 検挙件数(解決事件の件数を含む)÷認知件数×100
 刑法犯少年 刑法犯の罪を犯した少年で、犯行時及び処理時の年齢がともに14歳以上20歳未満の少年。
 触法少年(刑法) 刑法犯の罪に触れる行為をした14歳に満たない少年。
 特殊詐欺 被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪。

～特殊詐欺の発生状況～



令和元年に発生した特殊詐欺の認知件数は1,459件、被害金額は24億5,776万円で、前年に比べると認知件数で111件、被害金額で3億1,092万円減少しています。区分別にみると、認知件数では預貯金詐欺(634件)が、被害金額ではオレオレ詐欺(7億3,284万円)が最も多くなっています。

なお、特殊詐欺全体の被害者のうち、65歳以上が87.9%、女性が77.4%を占めています。



◆家計調査にみる品目別支出金額ランキング(平成29年~令和元年平均)◆

家計における消費支出は、地域によって特徴がみられることがあります。

下の表は、一世帯当たり食料の品目別年間支出金額(二人以上の世帯)について、都道府県庁所在市及び政令指定都市別のランキングで、さいたま市が上位の品目についてまとめたものです。

さいたま市は、「グレープフルーツ」と「プリン」が全国第1位になっています。

(単位：円)

項目	品目	支出金額 全国平均	1位	2位	3位	4位	5位
穀類	スパゲッティ	1,161	川崎市 1,384	東京都区部 1,362	さいたま市 1,349	相模原市 1,319	札幌市 1,307
	他の麺類 (ギョーザの皮、ビーフン等)	672	横浜市 1,015	相模原市 1,010	川崎市 1,001	東京都区部 937	さいたま市 935
	他の穀類のその他 (パン粉、そば粉等)	3,023	大津市 3,893	さいたま市 3,535	那覇市 3,494	松江市 3,448	横浜市 3,444
魚介類	干しあじ	721	静岡市 1,430	横浜市 1,342	甲府市 1,242	相模原市 1,236	さいたま市 1,079
肉類	豚肉	30,086	新潟市 34,884	さいたま市 33,854	相模原市 33,617	横浜市 33,557	川崎市 33,043
乳卵類	チーズ	5,808	東京都区部 7,615	川崎市 7,547	横浜市 7,544	さいたま市 7,285	仙台市 6,899
生鮮野菜	にんじん	2,406	那覇市 3,644	新潟市 2,844	相模原市 2,724	横浜市 2,711	さいたま市 2,674
	たけのこ	721	京都市 1,462	山形市 1,353	さいたま市 1,246	仙台市 1,089	長野市 1,024
	かぼちゃ	1,545	横浜市 2,059	さいたま市 1,994	東京都区部 1,955	千葉市 1,889	川崎市 1,875
	きゅうり	3,303	横浜市 4,370	前橋市 4,246	川崎市 4,205	東京都区部 4,188	さいたま市 4,185
乾物・海藻	豆類 (乾燥した豆類)	462	鹿児島市 775	松江市 691	福島市 664	京都市 615	さいたま市 609
	梅干し	1,462	和歌山市 2,906	さいたま市 2,276	青森市 1,979	京都市 1,877	千葉市 1,821
果物	グレープフルーツ	247	さいたま市 538	新潟市 459	仙台市 438	千葉市 431	前橋市 404
	キウイフルーツ	1,878	横浜市 2,879	相模原市 2,630	富山市 2,562	千葉市 2,551	さいたま市 2,479
油脂・調味料	ジャム	1,269	横浜市 1,809	さいたま市 1,757	奈良市 1,712	東京都区部 1,650	相模原市 1,586
	他の調味料 (こしょう、味りん等)	12,437	大津市 14,235	さいたま市 14,031	東京都区部 13,702	横浜市 13,701	長野市 13,632
菓子類	ようかん	677	佐賀市 1,344	さいたま市 1,266	福井市 1,157	静岡市 1,024	京都市 1,023
	カステラ	830	長崎市 6,668	金沢市 1,388	さいたま市 1,193	富山市 1,165	堺市 1,155
	ケーキ	6,834	金沢市 9,030	さいたま市 8,196	高知市 8,113	東京都区部 8,108	川崎市 7,947
	ゼリー	2,136	盛岡市 3,137	さいたま市 2,588	甲府市 2,515	宇都宮市 2,511	浜松市 2,448
	プリン	1,496	さいたま市 2,043	宇都宮市 1,904	甲府市 1,847	浜松市 1,835	山形市 1,775
調理食品	カツレツ	1,966	福井市 4,128	富山市 3,192	甲府市 3,074	金沢市 2,577	さいたま市 2,521
	しゅうまい	1,035	横浜市 2,518	川崎市 1,899	東京都区部 1,637	静岡市 1,635	さいたま市 1,514
飲料	紅茶	745	東京都区部 1,368	さいたま市 1,255	横浜市 1,204	神戸市 1,156	川崎市 1,054
	他の飲料その他 (甘酒、豆乳等)	6,674	那覇市 8,404	さいたま市 8,302	福島市 7,805	千葉市 7,649	東京都区部 7,607
外食	洋食	12,927	水戸市 25,665	宇都宮市 24,208	名古屋市 21,461	横浜市 20,714	さいたま市 20,121
	他の主食的外食 (お好み焼、ピザ等)	54,404	東京都区部 108,899	川崎市 79,057	京都市 76,805	長崎市 73,157	さいたま市 70,499

注) 都道府県庁所在市以外の政令指定都市は、川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市です。

資料：「家計調査」総務省統計局